

平成27年度 施策評価シート

総務部政策課

■ 目 次 ■

優【環境保全】	1
1 環境との共生 <6>	1
2 環境の保全 <7>	3
3 循環型社会の構築 <8>	5
悠【保健・福祉・社会保障】	7
4 保健医療の充実 <10>	7
5 健康づくり活動の実践 <6>	9
6 地域福祉の推進と災害支援 <5>	11
7 高齢者福祉の充実 <11>	13
8 障害者福祉の充実 <4>	15
9 児童福祉の充実 <11>	17
10 社会保障制度の充実 <6>	19
湧【ひとづくり・文化】	21
11 学校教育の充実 <7>	21
12 高等教育機関との連携 <7>	23
13 青少年の健全育成 <2>	25
14 生涯学習の推進 <3>	27
15 生涯スポーツの推進 <5>	29
16 文化と芸術の振興 <10>	31
結【生活基盤・情報・防災】	33
17 土地利用の適正化 <3>	33
18 道路交通網の整備 <6>	35
19 新幹線開業に向けた周辺整備 <3>	37
20 機能的なまちの整備と景観への配慮 <12>	39
21 上水道事業の運営 <3>	41
22 下水道事業の運営 <5>	43
23 地域防災の強化 <11>	45
24 安心なまちづくりの推進 <9>	47

裕【産業】	49
25 農業の振興 <11>	49
26 林業の振興 <3>	51
27 漁業の振興 <2>	53
28 工業の振興 <5>	55
29 商業の振興 <4>	57
30 雇用環境の充実 <3>	59
遊【交流】	61
31 観光の振興 <19>	61
32 交流の推進 <4>	63
融【まちづくり・行財政】	65
33 市民目線に立った行政運営 <6>	65
34 人権の尊重 <6>	67
35 情報化の推進 <8>	69
36 効率的な行財政運営 <15>	71

<>…事務事業数

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 1

施策区分	ゆう区分	優【環境保全】
	基本施策	環境との共生
事務事業数		6

施策の目的 平成23年度に見直した環境基本計画に基づき、エコ市民会議など市民と連携した環境保全活動や啓発活動、豊かな自然をフィールドにした環境学習、実践活動に取り組み、市民と市との共働による環境施策の推進を図る。

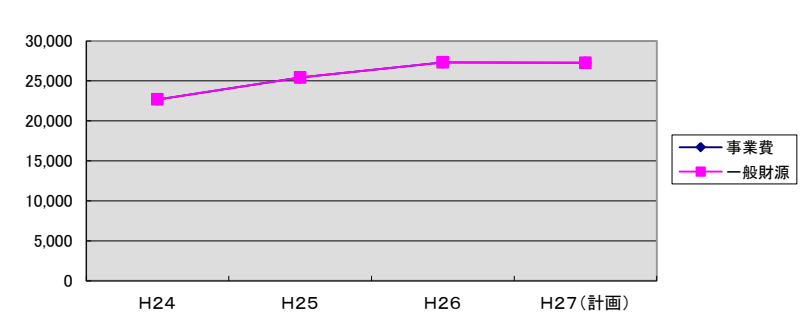
施策担当部・課	市民福祉部 市民生活課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	22,680	22,680	25,433	25,433	27,314	27,314	27,268	27,268
市民一人当たり【円】	750	750	851	851	925	925	931	931

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

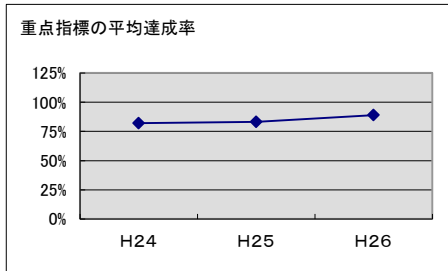
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	82.0%	83.1%	88.9%

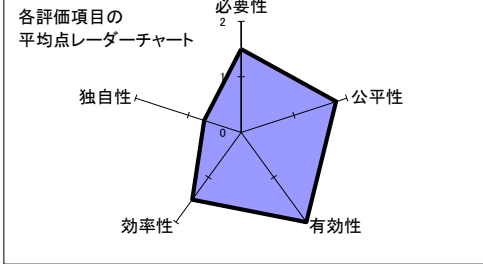
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.5 / 2	1.8 / 2	2.0 / 2	1.5 / 2	0.7 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	6			

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	5		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	道路や空き地にごみなどが少なくまちが清潔だと考える市民の割合	%	56.1	60.8	61.2	65.3		65.0
②	エコ市民会議の会員数	人	47	49	51	52		100
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

豊かで美しい自然を次世代に引き継ぐため、環境基本計画に掲げた市民の環境学習や共働した実践活動を推進することが重要である。地域や各種団体が行うクリーンアップ活動は増加し、エコ市民会議が実践する関連事業への市民の参加数は増加をするものの、会員数の増加には至っていない。今後、環境基本計画の指標の見直しを行うとともに、市民、市民団体、事業者、市が一体となった取り組みの推進を図る。

■行政評価委員会意見

これまでも指摘しているが、施策の指標・目標に掲げるエコ市民会議の会員数が伸び悩んでいる。エコ市民会議の活動そのものについて市民への浸透が図られていないことも考えられるため、ホームページや広報紙等でわかりやすく周知するとともに、呼び掛けをより一層強化しながら会員数の増加に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

環境保全意識の啓発について、出前講座の開催数が減少しているが、継続的に開催することにより徹底する必要があると思われる。目標を達成できるよう、今後も、子どもたちや地域における啓発活動に努められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	環境基本計画の推進・見直し	714	714	715	715	711	711	711	711	豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合	%	実績 90.7	88.5	92.4	95.0	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	1	市民生活課
2	環境保全意識の啓発	1,071	1,071	1,073	1,073	639	639	710	710	出前講座の開催数	回	実績 14	11	9	15	↑	2	2	2	1	0	A	現状維持	2	市民生活課
3	市民との共働	1,314	1,314	2,389	2,389	2,092	2,092	2,377	2,377	エコ市民会議会員数	人	実績 49	51	52	100	↑	1	1	2	1	2	A	拡大	3	市民生活課
4	環境学習と実践活動の充実	817	817	1,168	1,168	1,219	1,219	760	760	クリーンアップ活動実施回数	回	実績 45	43	58	60	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	4	市民生活課
5	環境活動団体への支援と連携	357	357	715	715	711	711	711	711	市民や各団体等との共同実施活動数	回	実績 5	5	6	6	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	5	市民生活課
6	斎場・墓地の管理運営	18,407	18,407	19,373	19,373	21,942	21,942	21,999	21,999	代官山墓地利用率(第3期工事分)	%	実績 68.2	89.3	90.6	71.0	↑	2	2	2	1	0	A	現状維持	6	市民生活課
7												実績 達成													
8												実績 達成													
9												実績 達成													
10												実績 達成													
11												実績 達成													
12												実績 達成													
13												実績 達成													
14												実績 達成													
15												実績 達成													
16												実績 達成													
17												実績 達成													
18												実績 達成													
19												実績 達成													
20												実績 達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 2

施策区分	ゆう区分	優【環境保全】
	基本施策	環境の保全
事務事業数		7

施策の目的 土採取の抑制と採取跡地の保全、廃棄物の不法投棄対策等に取り組むとともに、北潟湖・竹田川の水質浄化、森林の保全等を図り、あわら市の豊かで美しい自然を守り、次代に継承していく。

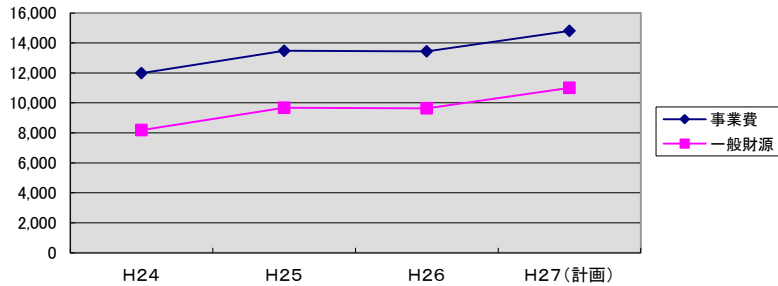
施策担当部・課	市民福祉部 市民生活課	
関係課	建設課	観光商工課
	農林水産課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	11,980	8,180	13,471	9,671	13,431	9,631	14,803	11,003
市民一人当たり【円】	396	271	451	324	455	326	505	376

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

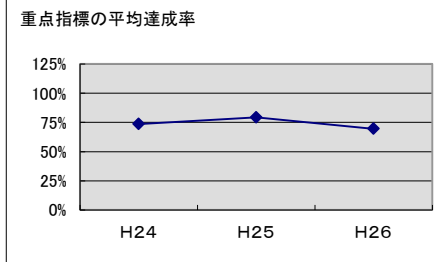
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	73.6%	79.4%	69.5%

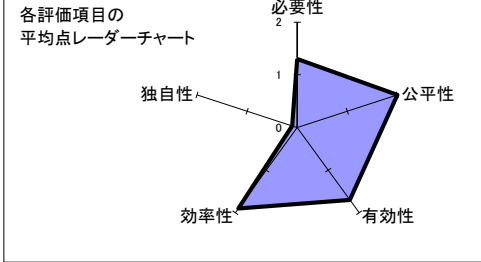
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.3 / 2	2.0 / 2	1.7 / 2	1.9 / 2	0.1 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	4	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	6		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合	%	90.5	90.7	88.5	92.4		95.0
②								
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

廃棄物の大規模な不法投棄は無かったが、家庭から出る一般廃棄物の投棄は依然として無くなる状況である。関係機関と連携し、引き続きパトロール等の監視活動と地区住民の監視の目を強化し、不法投棄をさせない活動を行っていく。また、県や大学等の研究機関、地域団体が構成する北潟湖の自然再生協議会において、アンケートとシンポジウムを実施し現状分析と今後の方針の検討を行った。市民への北潟湖の自然的価値の理解を深めることが最優先であるため、今後も市民を対象としたフォーラムを開催するなど、自然再生の意識の高揚を図る。

■ 行政評価委員会意見

北潟湖の水質浄化については、指標の数値に改善がみられ評価できる。しかしながら、目標達成が困難な状況が見受けられるため、北潟湖自然再生協議会や関係機関等との連携を強化しさらなる改善に努めるとともに、観光地としての魅力発信を行うなど、愛着をもたせる活動を進められたい。また、引き続き、土採取跡地の保全指導や廃棄物の不法投棄解消について強力に推進するよう努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

漂着ごみへの対応について、指標に掲げる海岸清掃の参加者数が減少している。地元住民やボランティアの協力を得ながら行っているとのことであるが、より一層地域との連携強化を図り、参加者を増加させる効果的な対策を講じられたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	土採取の抑制と採取跡地の保全	1,071	1,071	1,788	1,788	994	994	1,777	1,777	現地パトロール回数	回	実績 7	7	7	7	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	7	建設課
2	廃棄物の不法投棄対策と空き地の適正管理	1,071	1,071	1,073	1,073	1,066	1,066	710	710	不法投棄パトロール箇所数(連絡協議会坂井支部)	箇所	実績 15	15	15	15	→	1	2	2	1	0	B	現状維持	8	市民生活課
3	漂着ごみへの対応	243	243	245	245	172	172	243	243	海岸清掃の参加延べ人数	人	実績 317	418	244	420	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	9	観光商工課
4	環境調査・発生源対策	2,988	2,988	3,351	3,351	3,713	3,713	4,148	4,148	公害調査の実施箇所数	箇所	実績 32	32	32	32	→	2	2	2	2	0	A	現状維持	10	市民生活課
5	北潟湖の水質浄化	685	685	871	871	935	935	1,446	1,446	北潟湖水質汚濁環境基準値適合率	%	実績 14.3	9.5	16.7	30.0	↑	1	2	2	2	1	A	拡大	11	市民生活課
6	河川環境と水質の保全	714	714	715	715	782	782	711	711	水質汚濁環境基準値適合率	%	実績 75.0	86.0	86.0	90.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	12	市民生活課
7	森林の保全	5,208	1,408	5,428	1,628	5,769	1,969	5,768	1,968	間伐面積	ha	実績 37	42	23	60	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	13	農林水産課
8												実績													
9												達成													
10												実績													
11												達成													
12												実績													
13												達成													
14												実績													
15												達成													
16												実績													
17												達成													
18												実績													
19												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 3

施策区分	ゆう区分	優【環境保全】
	基本施策	循環型社会の構築
事務事業数		8

施策の目的	各種啓発活動を通して、ごみ減量化とリサイクルを推進するとともに、自然エネルギーの普及と環境に優しいライフスタイルの実現に取り組むこと等により持続可能な循環型社会の実現を目指す。
-------	--

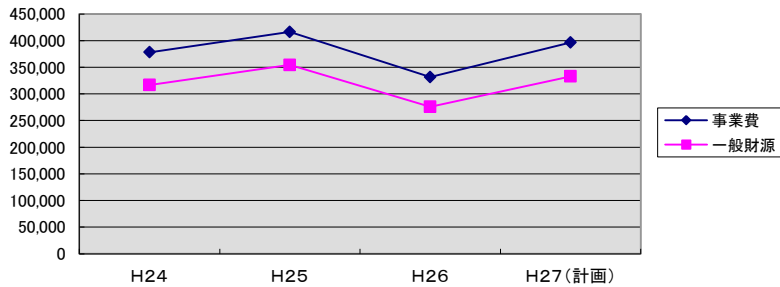
施策担当部・課	市民福祉部 市民生活課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	378,131	316,940	416,292	354,236	331,621	275,979	396,788	333,007
市民一人 当たり【円】	12,505	10,482	13,937	11,860	11,230	9,346	13,542	11,365

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

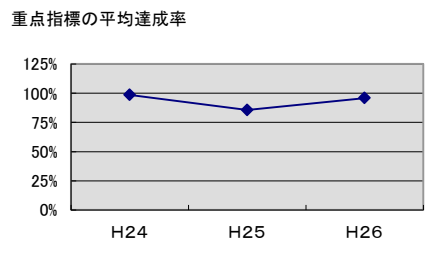
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	98.5%	85.6%	95.8%

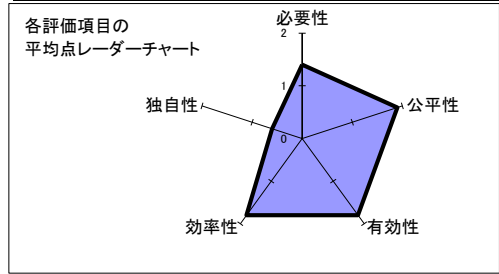
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.4 / 2	1.9 / 2	1.8 / 2	1.8 / 2	0.6 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	6	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	2	5	1	

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	ごみ減量化や資源リサイクルが進んでいると考える市民の割合	%	50.3	60.3	60.4	64.5		60.0
②	市民1人1日当たりのごみ排出量	g	864	718	705	685		870
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

廃プラの分別収集により可燃ごみの回収量は減少しているが、不燃ごみや、缶・ビン資源ごみ回収量も減少傾向にある。一人当たりのごみ排出量が減少していることから、ごみの回収量の減少は人口の減少も一因であると考えられる。しかしながら、ごみ排出量の減少は、市民の分別収集と減量化の意識付けが高い結果であるため、この意識を継続するための啓発活動をさらに推進する。

■行政評価委員会意見

市民一人一日当たりのごみ排出量や市民アンケートの結果から、ごみ減量化の推進の成果が現れており、高く評価できる。今後も、出前講座の実施やその他の事業のさらなる強化に努め、意識の醸成を図りたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	ごみ減量化の推進	5,149	5,149	18,632	18,632	16,610	16,610	16,803	16,803	市民一人一日当たりのごみ排出量(可燃・不燃・粗大のみ)	g	実績 718	705	685	870	↓	1	2	1	2	1	A	拡大	14	市民生活課
2	ごみ減量化意識の啓発	1,498	1,498	858	858	71	71	142	142	各地で開催されるイベントでの出前講座開催	回	実績 6	0	2	5	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	15	市民生活課
3	ごみの収集運搬	100,255	39,064	110,496	48,440	103,824	48,182	103,529	39,748	一般廃棄物のtあたり収集運搬コスト(資源ごみを含む)	円	実績 12,872	14,631	14,418	14,000	→	2	1	1	2	0	B	現状維持	16	市民生活課
4	ごみの共同処理	213,178	213,178	239,656	239,656	161,092	161,092	228,217	228,217	一般ごみの焼却量	t	実績 8,576	7,654	8,121	8,670	↓	2	2	2	0	0	B	拡大	17	市民生活課
5	し尿・汚泥の適正な処理	46,823	46,823	36,916	36,916	40,047	40,047	39,031	39,031	し尿処理量	kl	実績 5,163	4,862	4,567	5,000	↓	2	2	2	2	0	A	縮小	18	市民生活課
6	自然エネルギーの普及と有効活用	142	142	144	144	142	142	142	142	太陽光発電システム補助件数(累計)	件	実績 163	204	255	280	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	19	市民生活課
7	環境負荷の低減	500	500	144	144	71	71	142	142	マイバッグ持参率	%	実績 87.0	87.4	92.2	90.0	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	20	市民生活課
8	3Rの推進	10,586	10,586	9,446	9,446	9,764	9,764	8,782	8,782	資源回収量(登録団体実施分)	t	実績 1,100	1,028	1,078	1,150	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	21	市民生活課
9												実績													
10												達成													
11												実績													
12												達成													
13												実績													
14												達成													
15												実績													
16												達成													
17												実績													
18												達成													
19												実績													
20												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 4

施策区分	ゆう区分	悠【保健・福祉・社会保障】
	基本施策	保健医療の充実
事務事業数		10

施策の目的	市民健康診査の受診啓発や健診の事後フォロー、予防接種の推進などを通して疾病予防の充実を図るとともに、子ども医療費の助成や母子健康診査の充実などきめ細かい健康支援策を講じることにより、すべての市民が健やかで心豊かに生活できるまちを実現する。
-------	---

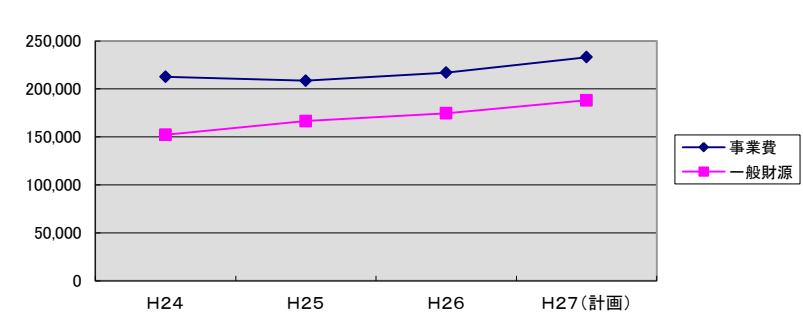
施策担当部・課	市民福祉部 健康長寿課	
関係課	子育て支援課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	212,541	152,226	208,623	166,460	216,941	174,677	233,103	188,100
市民一人当たり【円】	7,029	5,034	6,985	5,573	7,347	5,915	7,956	6,420

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

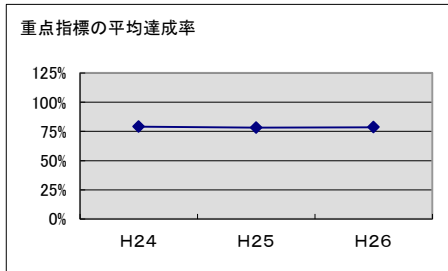
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	79.1%	78.1%	78.6%

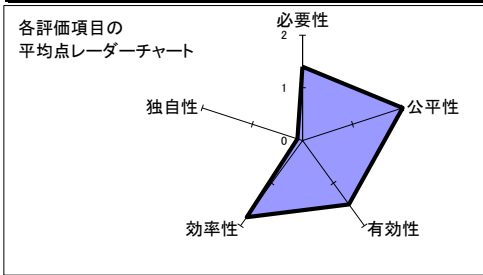
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.4 / 2	2.0 / 2	1.5 / 2	1.8 / 2	0.1 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	6	4		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	4	6		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	特定健診受診率	%	28.1	27.3	27.6	27.9		40.0
②	各種がん検診受診率	%	19.3	19.9	19.6	20.4		21.0
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

性別・年代・受診歴などの特性に応じた個別の受診勧奨(個別通知や電話勧奨)を実施した結果、受診率は僅かながらアップした。今後も、事業の評価を行いながら、効果的かつ効率的な取り組みをし、受診率向上を目指していく。

■行政評価委員会意見

国保受給者を対象とした特定健康診査について、電話勧奨など様々な手法を用いて努力していることは評価できる。しかしながら、事業費を増額して取り組んでいるものの、その成果は横ばいである。健康に対する市民の意識は劇的に変化することはないと考えられるが、今後も広報手法に工夫を凝らしながら事業の遂行に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	市民健康診査の受診向上	44,056	35,473	50,461	42,791	52,305	42,756	61,154	51,428	特定健康診査受診率	%	実績 27.3	27.6	27.9	40.0	↑	2	2	2	2	0	A	拡大	22	健康長寿課
												達成 68.3%	69.0%	69.8%											
2	健診の事後フォローの充実	1,858	1,858	1,896	1,896	1,245	1,245	2,096	2,096	特定保健指導実施率	%	実績 52.8	46.2	48.7	50.0	↑	2	2	2	2	0	A	拡大	23	健康長寿課
												達成 105.6%	92.4%	97.4%											
3	疾病予防事業(人間ドック)の実施	3,183	1,840	4,565	2,560	3,369	1,931	6,605	3,620	人間ドック受診者数	人	実績 114	169	121	250	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	24	健康長寿課
												達成 45.6%	67.6%	48.4%											
4	予防接種の推進	58,866	41,766	50,686	50,686	56,903	56,903	59,201	59,201	こども用定期接種の平均接種率	%	実績 85.1	75.0	81.2	97.0	↑	2	2	1	2	0	A	拡大	25	健康長寿課
												達成 87.7%	77.3%	83.7%											
5	歯科保健指導の充実	833	833	633	633	474	474	636	636	集団歯科健診受診者数	人	実績 44	44	43	120	↑	1	2	1	1	0	B	現状維持	26	健康長寿課
												達成 36.7%	36.7%	35.8%											
6	心の病気への対策	1,417	577	1,886	1,359	1,691	1,338	1,869	1,520	あわら市における人口10万人当たりの自殺率	人	実績 27	10	13	0	↓	1	2	1	1	0	B	現状維持	27	健康長寿課
												達成 -	-	-											
7	子ども医療費の助成	70,592	46,061	67,004	42,989	69,160	46,184	69,725	45,744	市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	%	実績 58.0	54.8	58.0	60.0	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	28	子育て支援課
												達成 96.7%	91.3%	96.7%											
8	母子健康診査と指導の充実	28,541	20,811	28,219	20,489	28,526	20,796	28,491	20,761	幼児健康診査受診率(1歳6カ月児、3歳児)	%	実績 94.7	93.5	97.0	100.0	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	29	健康長寿課
												達成 94.7%	93.5%	97.0%											
9	救急体制の整備・充実	2,552	2,364	2,630	2,414	2,626	2,408	2,684	2,452	救急出場件数	件	実績 1,103	1,131	1,184	1,000	→	1	2	1	2	0	B	現状維持	30	健康長寿課
												達成 -	-	-											
10	かかりつけ医の推奨	643	643	643	643	642	642	642	642	坂井地区医療機関の数	箇所	実績 107	107	110	110	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	31	健康長寿課
												達成 97.3%	97.3%	100.0%											
11												実績													
												達成													
12												実績													
												達成													
13												実績													
												達成													
14												実績													
												達成													
15												実績													
												達成													
16												実績													
												達成													
17												実績													
												達成													
18												実績													
												達成													
19												実績													
												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 5

施策区分	ゆう区分	悠【保健・福祉・社会保障】
	基本施策	健康づくり活動の実践
事務事業数		6

施策の目的 市民と連携しながら、運動などをベースとした健康づくりサポートの充実と、食育推進計画やおばあちゃんの味など食による健康づくりを推進し、生活習慣病の予防と改善を図り、市民一人一人が健康と向き合い、その維持と増進に取り組んでいくことができるまちを実現する。

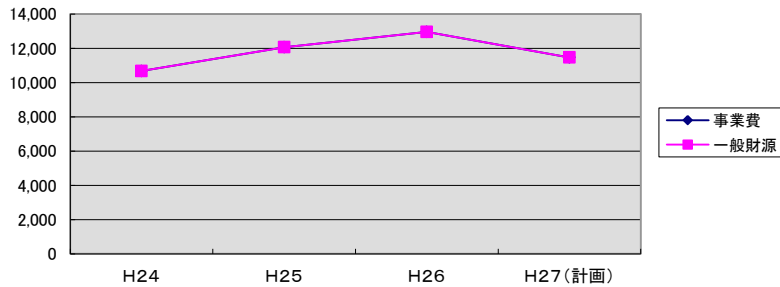
施策担当部・課	市民福祉部 健康長寿課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	10,673	10,673	12,063	12,063	12,947	12,947	11,466	11,466
市民一人当たり【円】	353	353	404	404	438	438	391	391

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

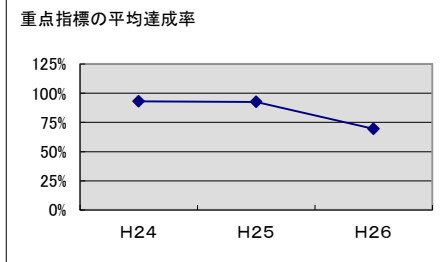
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	93.0%	92.5%	69.5%

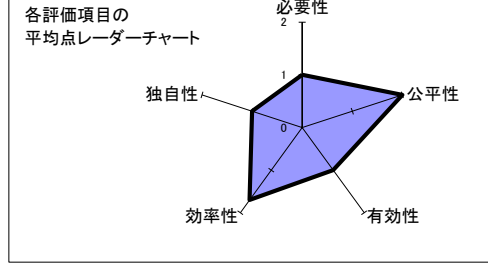
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.0 / 2	1.7 / 2	1.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	3	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	3	3		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	%	56.5	58.0	54.8	58.0		60.0
②	基本健診受診者の肥満割合	%	20.2	20.8	20.1	21.0		17.0
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

健康づくり推進区においては、健康づくりサポーターの指導によりラジオ体操教室を継続して実施するなど、地域ぐるみで健康づくりを推進しており、今後も推進区・サポーターを増やしていく。また、今年度新たな試みとして、「あわら食と健康フェア」を開催し、市民の食への関心を高めるとともに、豊かで健康的な食生活を送るために必要な知識の習得を促す。

■行政評価委員会意見

構成事務事業の指標にある健康教室等開催回数(モデル区)が大幅に減少している。この指標はモデル区に指定された区における開催回数であるが、各区における取組にバラつきが見られることから、地域における健康に対する意識の温度差を解消することが必要である。今後も、保健センター機能の充実等も図りながら、食や健康への関心を促すよう努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	健康に対する意識の醸成	357	357	501	501	569	569	497	497	市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	%	実績 58.0	54.8	58.0	60.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	32	健康長寿課
2	生活習慣病の予防	2,875	2,875	4,470	4,470	4,336	4,336	3,501	3,501	循環器系の疾患受診者数	人	実績 1,125	1,153	1,100	1,000	↓	1	2	1	1	2	A	現状維持	33	健康長寿課
3	保健センター機能の充実	2,065	2,065	2,022	2,022	2,103	2,103	2,121	2,121	健康教室等開催回数	回	実績 118	86	94	110	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	34	健康長寿課
4	健康づくりサポーター活動の推進	2,202	2,202	2,927	2,927	3,824	3,824	3,184	3,184	健康教室開催回数(モデル区)	回	実績 71	124	12	75	↑	1	2	1	2	2	A	拡大	35	健康長寿課
5	食育推進計画の推進	1,519	1,519	1,173	1,173	1,157	1,157	1,309	1,309	朝食欠食児童生徒数割合	%	実績 4.1	3.2	3.6	3.0	↓	1	2	1	2	0	B	拡大	36	健康長寿課
6	おばあちゃんの味の普及	1,655	1,655	970	970	958	958	854	854	伝承料理試食者数	人	実績 2,035	838	935	2,100	↑	1	2	1	1	2	A	現状維持	37	健康長寿課
7												実績													
8												達成													
9												実績													
10												達成													
11												実績													
12												達成													
13												実績													
14												達成													
15												実績													
16												達成													
17												実績													
18												達成													
19												実績													
20												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 6

施策区分	ゆう区分	悠【保健・福祉・社会保障】
	基本施策	地域福祉の推進と災害支援
事務事業数		5

施策の目的	民生(児童)委員やボランティア団体、社会福祉協議会などと連携しながら地域福祉の充実を図るとともに、災害ボランティアの派遣と受入れのマニュアル化など、大規模災害の発生に備えたまちづくりを進める。
-------	--

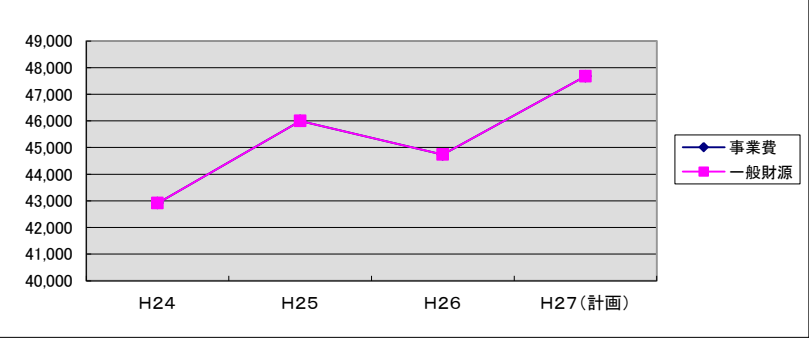
施策担当部・課	市民福祉部 福祉課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	42,913	42,913	45,996	45,996	44,737	44,737	47,673	47,673
市民一人 当たり【円】	1,419	1,419	1,540	1,540	1,515	1,515	1,627	1,627

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

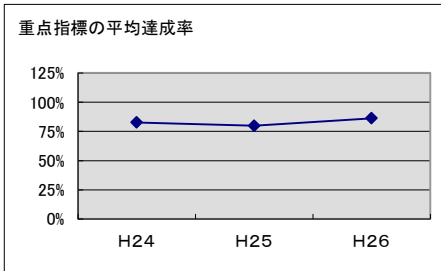
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	82.6%	79.8%	86.2%

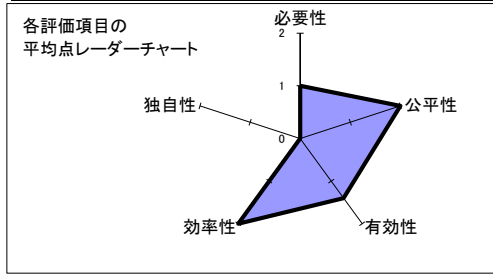
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.4 / 2	2.0 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	2	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		5		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①								
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

高齢者世帯や一人暮らしが年々増加する中で、災害時における支援体制の強化が必須となってきている。そのため、社会福祉協議会と連携しながら、区長、民生児童委員、福祉推進員が中心となった行政区単位での小地域福祉活動ネットワークづくりをさらに推進し、災害時での安否確認などの対応を図る。

■行政評価委員会意見

個人情報保護の観点から災害時要援護者台帳への登録が進みにくい状況であることは理解できる。施策担当課の方針にある区長、民生児童委員、福祉推進員を中心とした小地域福祉活動ネットワークづくりを強力に進めることで、地域の互助による災害支援体制の充実を図るよう努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課		
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針	
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																	
1	地域福祉計画の推進	357	357	72	72	142	142	71	71	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	%	実績 30.4	26.6	29.4	35.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	38	福祉課	
2	地域福祉活動支援事業	29,689	29,689	31,600	31,600	32,766	32,766	34,066	34,066	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	%	実績 30.4	26.6	29.4	35.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	39	福祉課	
3	民生(児童)委員との連携・支援	10,726	10,726	11,820	11,820	9,982	9,982	11,404	11,404	民生(児童)委員活動延べ件数	件	実績 8,147	8,231	9,113	8,200	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	40	福祉課	
4	災害ボランティア活動の充実	1,427	1,427	1,789	1,789	1,421	1,421	1,421	1,421	ボランティアの育成	人	実績 935	1,013	1,069	1,100	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	41	福祉課	
5	災害救助活動への取り組み	714	714	715	715	426	426	711	711	災害時要援護者台帳への登録対象障害者登載率	%	実績 27.4	27.3	27.3	50.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	42	福祉課	
6												実績														
												達成														
7												実績														
												達成														
8												実績														
												達成														
9												実績														
												達成														
10												実績														
												達成														
11												実績														
												達成														
12												実績														
												達成														
13												実績														
												達成														
14												実績														
												達成														
15												実績														
												達成														
16												実績														
												達成														
17												実績														
												達成														
18												実績														
												達成														
19												実績														
												達成														
20												実績														
												達成														

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	高齢者保健福祉計画の策定・推進	928	928	1,288	1,288	1,279	1,279	924	924	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	%	実績 30.4	26.6	29.4	35.0	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	43	健康長寿課
2	介護保険制度の適正な運営	408,061	408,061	408,296	408,296	423,909	423,909	423,554	423,554	介護保険料収納率(普通徴収分)	%	実績 77.3	78.4	79.4	78.5	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	44	健康長寿課
3	介護相談員制度の充実	341	0	288	1	281	71	358	142	介護相談員の派遣回数	回	実績 66	46	70	72	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	45	健康長寿課
4	高齢者在宅福祉サービスの充実	17,395	0	17,639	6	19,294	1,990	20,568	2,203	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	%	実績 30.4	26.6	29.4	35.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	46	健康長寿課
5	地域包括ケアの推進	17,021	16,021	17,528	16,528	17,425	16,425	17,354	16,354	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	%	実績 30.4	26.6	29.4	35.0	↑	2	2	1	2	0	A	拡大	47	健康長寿課
6	金津雲雀ヶ丘寮の運営	2,472	1,182	23,727	1,447	697,045	1,421	29,037	1,001	入所率	%	実績 98.9	99.0	97.0	100.0	↑	1	2	2	1	1	A	拡大	48	健康長寿課
7	介護者への支援	1,650	432	1,228	1	1,294	355	4,121	1,981	家族介護者交流事業参加者数	人	実績 54	86	94	65	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	49	健康長寿課
8	高齢者への感謝と激励	12,828	8,846	11,798	7,251	12,249	7,707	12,131	7,584	健康長寿祭への参加率	%	実績 25.5	24.6	23.7	29.0	↑	1	2	1	0	1	B	現状維持	50	健康長寿課
9	介護予防の推進	23,463	9,354	24,972	11,764	25,397	10,492	30,246	10,634	通所型介護予防事業及び訪問型介護予防事業参加率	%	実績 5.1	8.6	24.8	12.0	↑	2	2	1	2	0	A	拡大	51	健康長寿課
10	老人センターの管理運営	18,284	18,284	27,926	27,926	19,177	19,177	18,258	18,258	施設延べ利用者数	人	実績 21,667	17,629	11,250	22,800	↑	1	2	1	1	0	B	縮小	52	健康長寿課
11	高齢者の生きがいと健康づくりの推進	4,416	2,051	4,488	2,123	4,456	2,031	4,385	1,960	老人クラブ加入率	%	実績 45.1	42.2	39.6	50.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	53	健康長寿課
12												実績													
13												達成													
14												実績													
15												達成													
16												実績													
17												達成													
18												実績													
19												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 8

施策区分	ゆう区分	悠【保健・福祉・社会保障】
	基本施策	障害者福祉の充実
事務事業数		4

施策の目的	障害者が住み慣れた地域で暮らせるよう日常生活に対する支援などの福祉サービスを充実するとともに、就労や社会参加の促進を支援し、全ての人が生涯を通じていきいきと生活できるまちづくりを進める。
-------	---

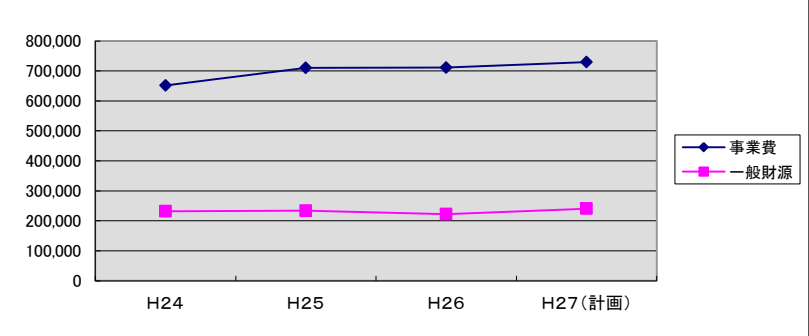
施策担当部・課	市民福祉部 福祉課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	651,629	231,894	710,628	234,035	710,936	222,210	729,439	240,713
市民一人当たり【円】	21,550	7,669	23,791	7,835	24,076	7,525	24,896	8,215

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

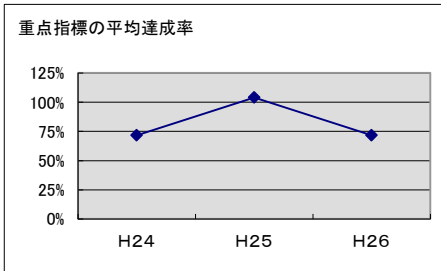
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	71.6%	104.1%	71.7%

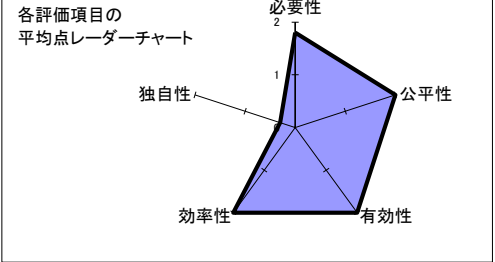
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.8 / 2	2.0 / 2	2.0 / 2	2.0 / 2	0.3 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	4			

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		4		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合	%	28.8	30.4	26.6	29.4		35.0
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

平成19年の障害者自立支援法の施行より、坂井市と地域協議会を設置し、個別の事案に対応しながら支援の充実を図ってきた。平成25年には障害者総合支援法が施行され、法施行後3年を目途とした見直し時期を迎えている。法改正とともに対象者や施策が拡大されていることから、必要となる支援の増加に的確に対応する。

■行政評価委員会意見

構成事務事業の指標の相談支援事業所相談件数が大幅に増加している現状や、法改正とともに必要となる支援の増加に的確に対応する必要がある。今後とも社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、障害者のニーズの把握に努め、本施策の推進に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	日常生活への支援	22,327	9,031	21,048	8,917	22,911	9,510	22,911	9,510	福祉タクシー利用者数	人	実績 149	169	171	171	→	1	2	2	2	1	A	現状維持	54	福祉課
2	就労や社会参加の支援	137,540	48,590	166,177	42,886	153,231	39,641	153,231	39,641	地域活動支援センターの利用	件	実績 4,295	6,247	4,302	6,000	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	55	福祉課
3	障害者福祉サービスの充実	474,870	164,665	504,166	171,032	512,533	159,858	532,267	179,592	介護給付利用者数	人	実績 246	284	322	250	→	2	2	2	2	0	A	現状維持	56	福祉課
4	介護者への支援	16,892	9,608	19,237	11,200	22,261	13,201	21,030	11,970	相談支援事業所相談件数	件	実績 8,049	10,815	13,631	10,000	→	2	2	2	2	0	A	現状維持	57	福祉課
5												実績													
												達成													
6												実績													
												達成													
7												実績													
												達成													
8												実績													
												達成													
9												実績													
												達成													
10												実績													
												達成													
11												実績													
												達成													
12												実績													
												達成													
13												実績													
												達成													
14												実績													
												達成													
15												実績													
												達成													
16												実績													
												達成													
17												実績													
												達成													
18												実績													
												達成													
19												実績													
												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 9

施策区分	ゆう区分	悠【保健・福祉・社会保障】
	基本施策	児童福祉の充実
事務事業数		11

施策の目的
 幼保一体化施策やあわら式幼児教育の推進による就学前教育と保育サービスの充実を図るとともに、子育て支援センターを核とした各種子育て支援策の展開など子育て環境の整備と充実を推進し、全ての子どもたちが健やかに成長することができるまちづくりを進める。

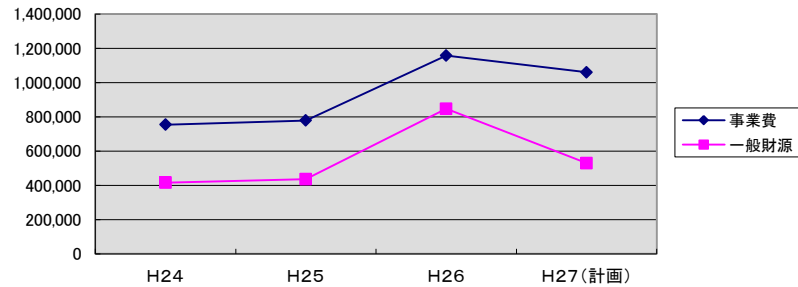
施策担当部・課	市民福祉部 子育て支援課	
関係課	文化学習課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	753,932	414,648	778,381	435,723	1,157,367	846,168	1,059,074	528,295
市民一人当たり【円】	24,933	13,713	26,060	14,588	39,194	28,655	36,146	18,031

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

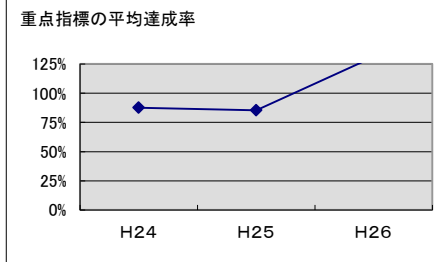
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	87.7%	85.4%	131.1%

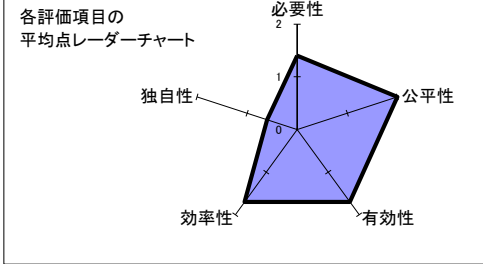
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.4 / 2	2.0 / 2	1.7 / 2	1.7 / 2	0.6 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	9	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	3	7		1

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	保育や相談事務などの子育て環境が充実していると考える市民の割合	%	45.0	48.2	50.2	55.4		50.0
②	保育所や幼稚園・幼稚園における幼児教育が充実していると考える市民の割合	%	49.2	54.4	55.5	58.6		55.0
③	就学前乳幼児数	人	1,299	1,232	1,195	1,207		1,300
④	子育て支援センター利用者数	人	6,867	6,150	7,073	9,311		7,500
⑤	放課後子どもクラブ登録者数	人	250	309	354	391		280

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

平成27年4月に質の高い一貫した就学前教育及び保育を目指すため、社会福祉法人の合意を得て市内の公立及び私立の幼稚園・保育所をすべて幼保連携型認定こども園へ移行した。今後は、小1プロブレム等就学前教育及び保育を実施するために、各小学校との連携強化や指導保育教諭によるアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの確立等継続して環境を整備していく必要がある。

■ 行政評価委員会意見

本施策は後期基本計画においてHEECE構想事業重点施策に指定されるとともに、個別事業にも多くのHEECE構想事業を含んでいる。さらに、平成27年4月より5歳児のこども園料無料化を開始するなど、新たな施策を追加することで子育て支援制度の充実が図られている。今後も、これらの子育て支援策の周知を高めることで、出生率の向上やふるさと回帰、移住者の呼び込みを促し、人口減少対策に直結する取組として効果を高めるよう努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

少子高齢化の進行や若者の市外への流出が顕著となっている昨今、人口減少を抑制する施策がますます重要視されている。その意味で、結婚、出産、子育てまで一貫した切れ目のない支援策を充実させている点は高く評価できる。これらの制度を、県外に進学される若者等に周知徹底することでUターン促進を図るなど、ターゲットを明確にしながら総合的に進められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課		
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針	
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																	
1	次世代育成支援地域行動計画の推進	714	714	715	715	711	711	711	711	計画達成率	%	実績 78.8	78.8	94.9	94.9	100.0	↑	2	2	1	2	0	A	休・廃止	58	子育て支援課
2	放課後子どもクラブの運営	33,073	11,031	40,954	15,544	45,177	15,246	55,110	16,068	放課後子どもクラブ登録者数	人	実績 309	309	354	391	285	↑	1	2	2	2	1	A	拡大	59	文化学習課
3	母子家庭の自立支援	117,285	76,449	111,973	73,235	117,285	76,066	115,516	75,442	母子医療費受給資格の認定率	%	実績 100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	60	子育て支援課
4	幼保一体化の推進	4,995	4,995	18,240	18,240	365,229	292,339	1,711	1,711	幼保一体化施設の数	施設	実績 3	3	3	3	12	↑	1	2	2	2	2	A	拡大	61	子育て支援課
5	あわら式幼児教育の推進	1,374	1,374	1,375	1,375	1,356	1,356	1,551	1,551	外部講師による指導や教室等の実施回数	回	実績 50	50	46	153	60	↑	1	2	1	2	2	A	現状維持	62	子育て支援課
6	私立保育所への支援	530,534	265,394	538,096	272,956	562,989	409,159	808,708	370,671	私立保育所定員充足率	%	実績 108.0	108.0	106.7	105.9	100.0	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	63	子育て支援課
7	子育てマイスターの育成	714	714	715	715	711	711	711	711	子育てマイスター登録数	人	実績 20	20	21	18	20	↑	1	2	1	1	0	B	現状維持	64	子育て支援課
8	子育て支援センターの運営	25,928	22,183	24,972	19,392	24,615	19,035	24,566	18,782	延べ利用者数	組	実績 6,150	6,150	7,073	9,311	7,500	↑	1	2	2	1	1	A	拡大	65	子育て支援課
9	要保護児童の早期発見と支援	5,368	5,368	5,384	5,384	5,298	5,298	5,298	5,298	相談や情報提供の件数	件	実績 69	69	68	56	50	→	2	2	2	2	0	A	現状維持	66	子育て支援課
10	地域や家庭における子育ての支援	1,070	1,070	1,073	1,073	1,066	1,066	1,066	1,066	出前子育て支援センターへの参加人数	人	実績 51	51	23	144	50	↑	1	2	2	1	0	B	現状維持	67	子育て支援課
11	各種子育て支援事業の実施	32,877	25,356	34,884	27,094	32,930	25,181	44,126	36,284	第3子以降の児童の入所者割合	%	実績 89.0	89.0	81.0	91.0	100.0	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	68	子育て支援課
12												実績														
13												達成														
14												実績														
15												達成														
16												実績														
17												達成														
18												実績														
19												達成														
20												実績														
												達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 10

施策区分	ゆう区分	悠(保健・福祉・社会保障)
	基本施策	社会保障制度の充実
事務事業数		6

施策の目的 制度や社会情勢の変化に的確に対応しながら、国民健康保険制度や後期高齢者医療制度、国民年金制度などの運営を行うとともに、生活困窮者に対する支援を行い、各種社会制度の適正な運営を図る。

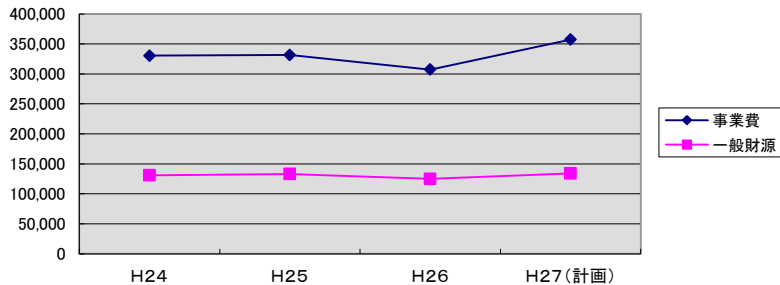
施策担当部・課	市民福祉部 健康長寿課	
関係課	収納推進課	市民生活課
	福祉課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	330,361	130,925	331,653	132,902	307,347	124,865	357,370	133,968
市民一人 当たり【円】	10,925	4,330	11,104	4,449	10,408	4,229	12,197	4,572

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

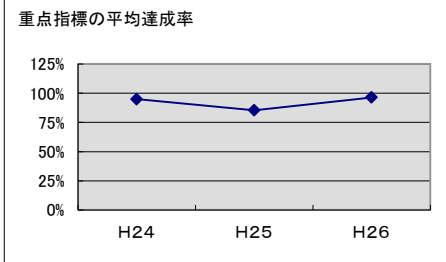
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	94.9%	85.3%	96.5%

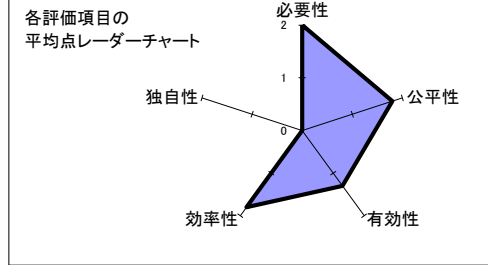
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	2.0 / 2	1.8 / 2	1.3 / 2	1.8 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	5	1		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	2	4		

■ 施策の指標・目標

	指 標 名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	1人当たりの国民健康保険医療費	円	361,607	358,530	357,047	369,385		320,000
②	国民健康保険税の収納率	%	94.6	94.3	94.2	94.1		96.0
③	生活保護被保護世帯数	世帯	101	111	113	120		90
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

①平成30年度から県が市町村とともに国保の共同の保険者となることから、国が進めている制度改革の動向を注視しつつ、適正な運営に努める。②国民年金については、日本年金機構との連携を密にし、引き続き円滑な事務の執行に努める。③生活保護の被保護者は増加しており、相談件数も(生活困窮者も含めて)年間350件以上に及ぶ。また、市外からの転入者で年金等にも加入していない人が多く、就労支援員配置により、生活保護に陥らないよう更なる就労支援の充実強化を図る。また、生活保護の申請があった場合は、他法に基づく支援も鑑みながら審査する。

■ 行政評価委員会意見

本施策を構成する事務事業の性質上、独自性が低く、必要性、公平性が高いのはやむを得ないものである。今後は、全国の先進地に例のあるレセプトデータを活用した予防事業を検討するなど、医療費の抑制につながる新たな取組を進められたい。また、生活保護に関しては、引き続き審査制度の厳正な運用を図りながら保護費の抑制に努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	国民健康保険事業の運営	3,018	1,227	5,086	1,811	4,245	1,611	4,711	711	1人当たり国民健康保険医療費	千円	実績 359	357	369	320	↓	2	1	1	1	0	B	拡大	69	健康長寿課
2	国民健康保険税の賦課・徴収	15,563	15,563	18,586	18,586	17,058	17,058	15,760	15,760	現年度分徴収率(国保分)	%	実績 94.3	94.2	94.1	96.0	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	70	収納推進課
3	国民健康保健医療費の適正化	8,331	6,994	8,350	7,101	8,176	6,982	8,383	7,189	点検調査等による被保険者一人あたりの財政効果額	円	実績 2,705	1,514	3,087	2,500	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	71	健康長寿課
4	後期高齢者医療制度の運営	7,113	7,113	7,137	7,137	7,103	7,103	6,710	6,710	保険料収納率(普通徴収)	%	実績 97.6	98.6	99.1	100.0	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	72	健康長寿課
5	国民年金啓発活動の推進	21,474	21,474	21,597	21,597	20,036	20,036	21,497	21,497	窓口等相談件数	件	実績 3,173	2,861	2,809	3,100	→	2	2	1	2	0	A	現状維持	73	市民生活課
6	生活困窮世帯への支援	274,862	78,554	270,897	76,670	250,729	72,075	300,309	82,101	生活保護被保護世帯数	世帯	実績 111	113	120	90	↓	2	2	1	2	0	A	拡大	74	福祉課
7												実績													
8												達成													
9												実績													
10												達成													
11												実績													
12												達成													
13												実績													
14												達成													
15												実績													
16												達成													
17												実績													
18												達成													
19												実績													
20												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 11

施策区分	ゆう区分	湧【ひとつくり、文化】
	基本施策	学校教育の充実
事務事業数		7

施策の目的 学校施設の充実や確かな学力を身に付けさせるためのきめ細やかな教育の推進、学校給食センターの整備と学校給食の充実など、子どもたちが安心して学び、成長することのできる優れた教育環境の整備・維持に努める。

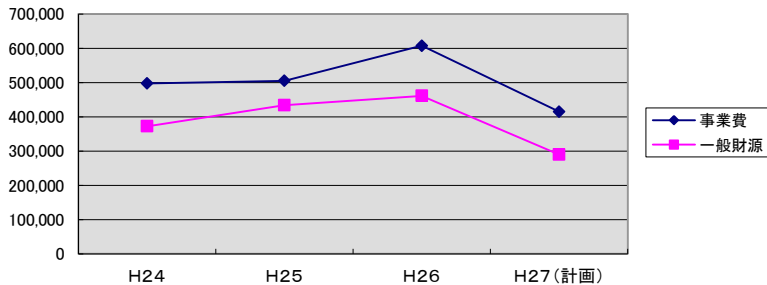
施策担当部・課	教育委員会 教育総務課	
関係課		

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	497,590	372,333	504,858	434,033	607,265	460,980	414,574	289,606
市民一人 当たり【円】	16,456	12,313	16,902	14,531	20,565	15,611	14,149	9,884

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

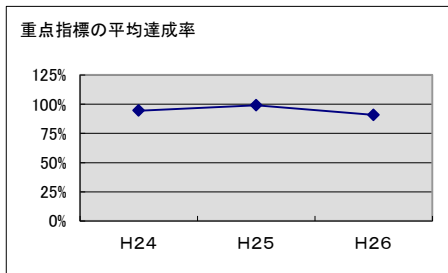
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	94.5%	99.2%	90.8%

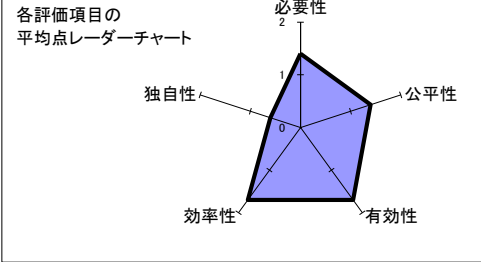
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.4 / 2	1.4 / 2	1.7 / 2	1.7 / 2	0.6 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	4	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	6		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	小・中学校の施設が充実し、学習しやすい環境が整備されていると考える市民の割合	%	50.6	56.6	54.5	58.2		55.0
②	不登校児童の率(小学校)	%	0.4	0.4	0.5	0.3		0.2
③	不登校生徒の率(中学校)	%	2.7	2.4	3.3	2.9		2.2
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

学校教育の現場では「生きる力」を育む理念のもと、子どもたち一人ひとりの現状を踏まえ、知識や技能など確かな学力を習得させるとともに、思考力や判断力、表現力などの豊かな心と身体を育むことが重要である。不登校の対策として、不登校の子ども達を対象とした「いきいき教室」の設置やスクールカウンセラーの配置を行っている。今後は、少子化に伴い小規模化している小学校の統合を含めた適正配置を進める。
施設面では、市の将来を担う子ども達が、安全・快適な環境で学校教育を受けるため、小中学校の大規模改修やエアコンの設置を進めていく。

■ 行政評価委員会意見

昨年度指摘のあった不登校児対策については、対策委員会を立ち上げ改善に努められており、評価できる。
義務教育期間は、子どもたちの個性や人格の形成に重要な時期であることから、市の将来を担う子どもたちのため、教育環境の充実・維持に努められたい。
また、小学校については、出生数を見据えた適正規模の配置を行い、地域や保護者等の理解を得ながら円滑に進められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

学校施設の整備や維持管理には多額の予算が必要となるため、改修工事の優先順位やライフサイクルコストについて、市民にも見える形で示しながら財政面に配慮した措置を講じられたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	小・中学校施設の充実	239,960	159,936	221,138	215,037	258,782	241,531	65,427	63,000	大規模改修工事進捗率	%	実績 0.4	9.7	11.7	16.8	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	75	教育総務課
2	健やかな心と身体の育成	1,526	1,526	1,505	1,505	1,472	1,472	1,483	1,483	わくわくアートスクール参加率	%	実績 97.9	98.2	98.6	100.0	↑	1	1	2	2	2	A	現状維持	76	教育総務課
3	確かな学力の育成	41,993	41,993	46,726	46,726	48,909	48,909	50,198	50,198	複式学級解消率	%	実績 100.0	100.0	100.0	100.0	↑	1	1	2	2	1	A	現状維持	77	教育総務課
4	特別支援教育の充実	2,890	2,638	3,169	2,752	3,272	2,710	3,250	2,917	指導教師一人当たり特別支援学級在級児童生徒数	人	実績 3.3	4.2	3.6	3.5	↓	2	2	1	2	0	A	現状維持	78	教育総務課
5	スクールカウンセリングの充実	7,181	6,156	7,249	6,235	9,227	8,378	8,283	7,240	不登校生徒率	%	実績 2.4	3.3	2.9	2.2	↓	2	2	2	2	0	A	現状維持	79	教育総務課
6	学校給食の充実と給食センターの整備	203,239	159,283	224,219	160,926	284,953	157,330	285,283	164,118	給食センターにおける児童・生徒1人当たりの年間食べ残し量	g	実績 908	797	1,575	1,500	↓	2	1	2	1	0	B	現状維持	80	教育総務課
7	教育力向上のための対策	801	801	852	852	650	650	650	650	為庶塾受講率	%	実績 98.0	100.0	99.0	100.0	↑	1	1	2	1	1	B	現状維持	81	教育総務課
8												実績													
9												達成													
10												実績													
11												達成													
12												実績													
13												達成													
14												実績													
15												達成													
16												実績													
17												達成													
18												実績													
19												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 12

施策区分	ゆう区分	湧【ひとつくり、文化】
	基本施策	高等教育機関との連携
事務事業数		3

施策の目的	県立金津高等学校と連携した中高一貫教育を通して質の高い教育と人材の育成を進めるとともに、福井工業大学との連携協定を踏まえながら、大学の持つ知的・人的資源の活用を図る。
-------	---

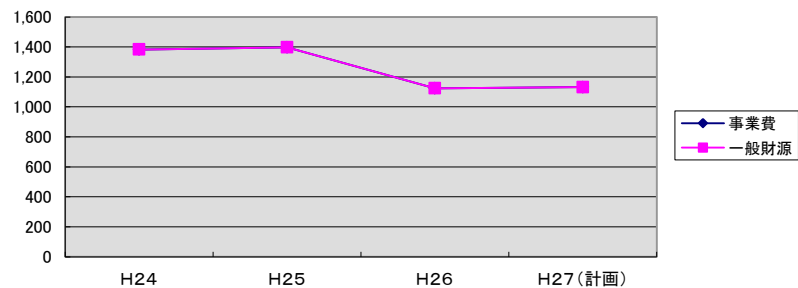
施策担当部・課	教育委員会 教育総務課	
関係課	政策課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	1,383	1,383	1,397	1,397	1,124	1,124	1,132	1,132
市民一人当たり【円】	46	46	47	47	38	38	39	39

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

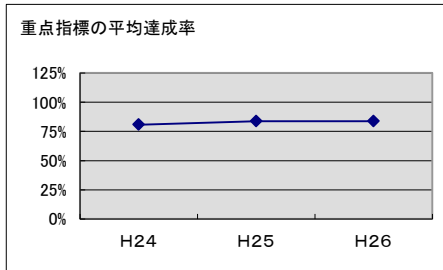
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	80.8%	83.7%	83.8%

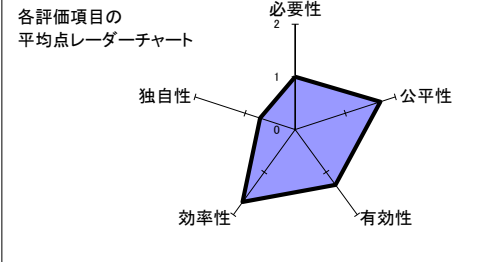
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	1.7 / 2	1.3 / 2	1.7 / 2	0.7 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	2		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①								
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

課題としては、連携クラスにおける大学・短大進学率が伸び悩んでいる。その原因としては、少子化が進む中で芦原・金津両中学校に1クラスずつの連携クラスの定員を維持するために、クラス内における学力差が拡大していることが考えられる。今後、定員等の見直し等の対策を検討する必要がある。

■行政評価委員会意見

昨年度も指摘を行ったが、重点指標の一つである金津高校中高一貫クラスの大学進学率が大きく低下している。中学校時における選定方法や基準等について抜本的見直しを図りたい。

■行政改革等推進委員会意見

全国的に大学進学率が上がっている状況下で、連携クラスにおける大学・短大進学率が伸び悩んでいることに不安を感じる。学力以外の理由により大学進学できない状況の把握など、原因追究を徹底し改善策を講じられたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	金津高等学校との連携	700	700	701	701	697	697	697	697	市内生徒の金津高校への進学割合	%	実績 39.0	34.8	31.6	40.0	↑	1	2	1	1	1	B	現状維持	82	教育総務課
											達成 97.4%	87.0%	79.0%												
2	中高一貫教育の推進	500	500	501	501	213	213	213	213	一貫クラス大学進学率	%	実績 85.1	84.0	72.5	100.0	↑	1	1	1	2	1	B	現状維持	83	教育総務課
											達成 85.1%	84.0%	72.5%												
3	産学官協力体制づくりの推進	183	183	195	195	214	214	222	222	大学その他研究機関との連携事業数	件	実績 3	4	5	5	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	84	政策課
											達成 60.0%	80.0%	100.0%												
4											実績														
											達成														
5											実績														
											達成														
6											実績														
											達成														
7											実績														
											達成														
8											実績														
											達成														
9											実績														
											達成														
10											実績														
											達成														
11											実績														
											達成														
12											実績														
											達成														
13											実績														
											達成														
14											実績														
											達成														
15											実績														
											達成														
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 13

施策区分	ゆう区分	湧【ひとづくり、文化】
	基本施策	青少年の健全育成
事務事業数		2

施策の目的	スポーツ少年団活動への支援や少年愛護センターの運営などを通して、青少年が様々な社会活動に参加できる仕組みづくりや非行から守る取り組みを行い、その健全な育成を推進する。
-------	---

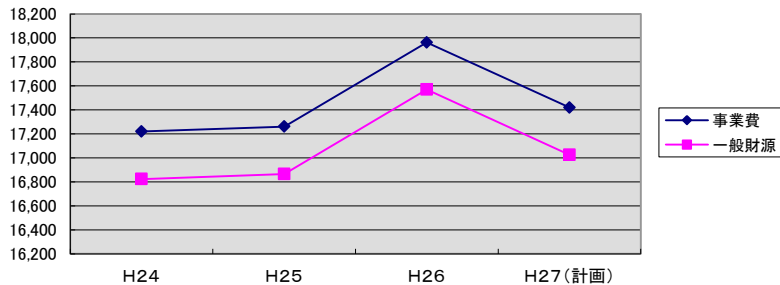
施策担当部・課	教育委員会 スポーツ課	
関係課	文化学習課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	17,220	16,823	17,261	16,866	17,963	17,571	17,420	17,025
市民一人当たり【円】	569	556	578	565	608	595	595	581

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

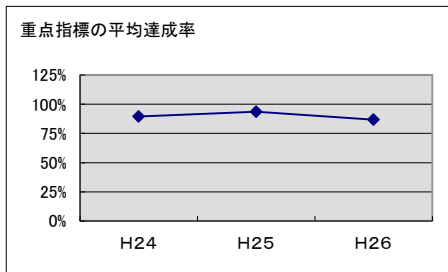
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	89.5%	93.5%	86.7%

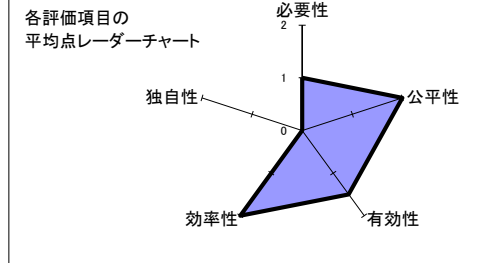
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.5 / 2	2.0 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	1		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		2		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	スポーツ少年団参加児童数	人	572	559	579	527		600
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

近年、非行少年等の検挙・補導人員は減少傾向にあるものの、依然として刑法犯全体に占める割合が高く、学校でのいじめなどが社会問題になっていることから、放課後や休日など、学校外でのスポーツ少年団活動や子ども会活動を支援し、子どもたちの健全育成を図っていく。また、小学生の補導、見守り活動は地域や学校との連携及び情報の共有を図るなど充実してきているが、中高校生の下校時間は部活動等のためにばらつきがあり、補導活動がしにくい現状にある。今後さらに少年愛護センターが中心となり、学校、警察、市内事業所との連携を深め、青少年の健全育成を図る。

■行政評価委員会意見

青少年の安全安心を確保する取組については、少年愛護センターを中心に幅広く事業が展開され、評価できる。
スポーツ少年団の登録団員割合が減少しているが、スポーツ少年団だけではなくクラブチームへの加入など多様化する傾向に起因していることは理解できる。
今後もスポーツ少年団や子供会の活動が活動しやすい制度の充実に努め、あわら市の将来を担う子どもたちが健やかに育つための環境づくりに努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

全国的に大学進学率が上がっている状況下で、連携クラスにおける大学・短大進学率が伸び悩んでいることに不安を感じる。学力以外の理由により大学進学できない状況の把握など、原因追究を徹底し改善策を講じられたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価					事業No	所管課		
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性			ランク	方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	スポーツ少年団活動への支援	7,607	7,607	7,763	7,763	8,482	8,482	7,742	7,742	登録団員割合	%	実績 35.8	37.4	34.7	40.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	85	スポーツ課
2	少年愛護センターの運営	9,613	9,216	9,498	9,103	9,481	9,089	9,678	9,283	声かけ・注意指導件数	件	実績 72	151	214	200	→	1	2	2	2	0	A	現状維持	86	文化学習課
3											実績														
4											達成														
5											実績														
6											達成														
7											実績														
8											達成														
9											実績														
10											達成														
11											実績														
12											達成														
13											実績														
14											達成														
15											実績														
16											達成														
17											実績														
18											達成														
19											実績														
20											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 14

施策区分	ゆう区分	湧【ひとづくり、文化】
	基本施策	生涯学習の推進
事務事業数		3

施策の目的	公民館の運営や各種講座の開催、図書館の整備と運営など生涯学習を推進するための体制を整備し、地域が一体となって生涯学習を推進できる仕組みづくりを進める。
-------	---

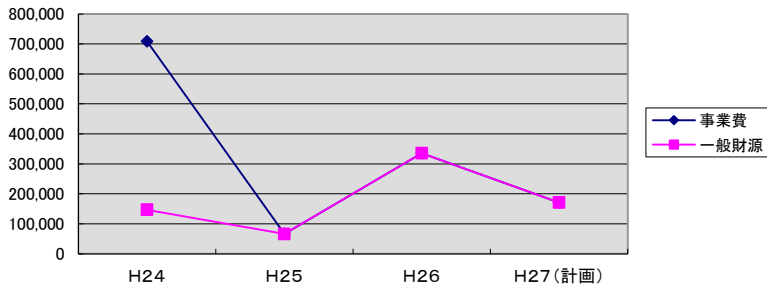
施策担当部・課	教育委員会 文化学習課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	708,364	146,864	66,331	65,771	335,259	335,259	170,921	170,921
市民一人 当たり【円】	23,426	4,857	2,221	2,202	11,354	11,354	5,833	5,833

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)

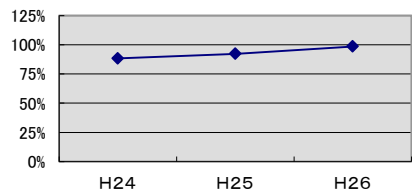


■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	88.3%	92.3%	98.6%

※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)

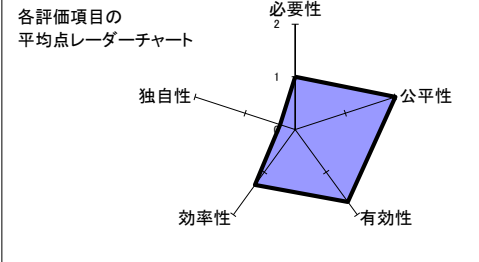
重点指標の平均達成率



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.7 / 2	1.3 / 2	0.3 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	2		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	公民館講座受講者数	人	48,906	50,133	50,155	43,313		46,000
②	生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考えられる市民の割合	%	34.5	36.7	33.8	41.7		40.0
③	図書館来館者数	人	44,709	41,752	54,214	63,275		50,000
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

図書館においては、資料の充実に努めた。今後も市内の学校等への支援活動及び子育て支援の一環として、ブックスタートによる関係機関との連携を図るとともに、利用者のニーズに合わせた運営体制に努めたい。公民館の各種講座や市民大学講座の受講生は、中、高齢者であることから、講座や講師は、若年層のニーズに合わせた選定を図るとともに、積極的な情報発信を行う必要がある。また、親子で楽しめる講座等を行い、子どものころから公民館に親しめる環境づくりに努めていく。

■行政評価委員会意見

公民館講座を周知する冊子を作成するなど早急な対応を講じられている点は評価できるが、受講者数に減少がみられる。今後も周知の強化を図るとともに、講座の内容の見直しや若い世代に活用してもらおう取組など、多様化するニーズに対応するよう努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

公民館活動のマンネリ化や活動に参加する市民が偏っている現状を打開するため、他自治体の例にあるように、公民館を核とし、各地区に配置されている生涯学習地区推進員等が中心となって幅広い世代が集まり地域づくり活動を行うような体制が整備できないか十分に検討されたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	生涯学習推進体制・地区推進体制の整備	6,455	6,455	11,547	10,987	281,510	281,510	121,755	121,755	生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考える市民の割合	%	実績 36.7	33.8	41.7	40.0	↑	1	2	1	2	1	A	現状維持	87	文化学習課
2	公民館講座、市民大学講座の開催	19,885	19,885	16,126	16,126	17,379	17,379	17,793	17,793	公民館講座受講延べ人数	人	実績 50,133	50,155	43,313	46,000	↑	1	2	2	1	0	B	現状維持	88	文化学習課
3	図書館の整備と運営	682,024	120,524	38,658	38,658	36,370	36,370	31,373	31,373	来館者数 (金津・苜原図書館)	人	実績 41,752	54,214	63,275	65,000	↑	1	2	2	1	0	B	拡大	89	文化学習課
4												実績													
5												達成													
6												実績													
7												達成													
8												実績													
9												達成													
10												実績													
11												達成													
12												実績													
13												達成													
14												実績													
15												達成													
16												実績													
17												達成													
18												実績													
19												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 15

施策区分	ゆう区分	湧【ひとづくり、文化】
	基本施策	生涯スポーツの推進
事務事業数		5

施策の目的	スポーツ施設の充実や指導者の育成を進めるとともに、あわらトリムクラブや地区体育協会、競技団体などと連携しながら生涯にわたりスポーツが楽しめる仕組みづくりを進める。
-------	---

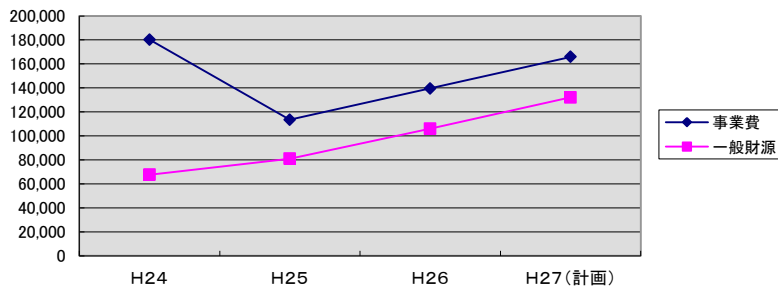
施策担当部・課	教育委員会 スポーツ課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	180,279	67,574	113,375	80,968	139,559	105,961	165,888	132,094
市民一人当たり【円】	5,962	2,235	3,796	2,711	4,726	3,588	5,662	4,508

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

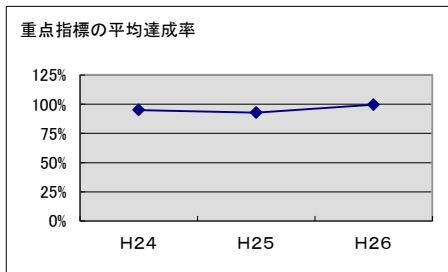
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	95.0%	92.9%	99.6%

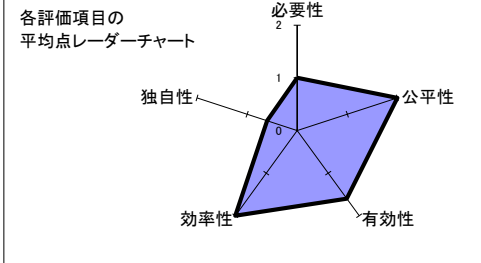
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.6 / 2	2.0 / 2	0.6 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	4	1		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	2	3		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合	%	45.5	47.6	42.7	46.2		50.0
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

平成30年に開催される福井国体に向けて、計画的に各体育施設の改修を進めていく。
また、福井国体の開催を機に「1市民1スポーツ」を目指し、市民が日常生活の中でスポーツを取り入れ、「いつでも、どこでも、だれでも」がその体力や年齢に応じてスポーツを気軽に楽しめる環境づくりを推進する。
総合型地域スポーツクラブ「あわらトリムクラブ」は、平成26年度でtoto助成金が打ち切られた。現状では法人化も難しく見合わせていることから、行政支援の見直しが必要である。

■行政評価委員会意見

あわらトリムクラブへのtoto助成金が平成26年度をもって打ち切られたことから、会員数の増加や魅力ある事業の展開など、自己財源の確保を強化し、事業継続に向けた取組を行うよう努められたい。
また、市民体育祭については、天候によって左右されるもので、2年連続開催が中止されていることから、中止の際の代替措置やあり方の見直しを検討されたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	スポーツ団体の育成・支援	10,857	9,857	11,111	10,111	10,807	9,807	10,957	9,957	あわらトリムクラブ会員数	人	実績 434	467	447	450	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	90	スポーツ課
2	体育協会との連携・支援	20,349	18,117	22,598	20,266	33,252	30,917	18,773	16,384	市民スポレク祭(市民スポーツ大会)参加人数	人	実績 818	654	894	820	↑	1	2	2	2	2	A	現状維持	91	スポーツ課
3	指導者の育成	2,934	2,934	5,209	5,209	5,275	5,275	5,243	5,243	スポーツ少年団認定指導員有資格者割合	%	実績 71.9	76.3	77.9	80.0	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	92	スポーツ課
4	施設の充実と管理運営	136,817	27,344	66,664	37,589	79,867	49,604	121,227	90,822	手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合	%	実績 47.5	42.7	46.2	50.0	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	93	スポーツ課
5	カヌーの普及	9,322	9,322	7,793	7,793	10,358	10,358	9,688	9,688	あわらカップカヌーポロ大会市民参加チーム	チーム	実績 47	50	50	50	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	94	スポーツ課
6												実績													
7												達成													
8												実績													
9												達成													
10												実績													
11												達成													
12												実績													
13												達成													
14												実績													
15												達成													
16												実績													
17												達成													
18												実績													
19												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 16

施策区分	ゆう区分	湧【ひとづくり、文化】
	基本施策	文化と芸術の振興
事務事業数		10

施策の目的	市内の文化財の調査・研究を進め、その保全と継承に努めるとともに、文化活動団体の育成・支援を通して伝統文化や芸術の振興を図る。また、金津創作の森を拠点とした芸術の振興・発展に努める。
-------	--

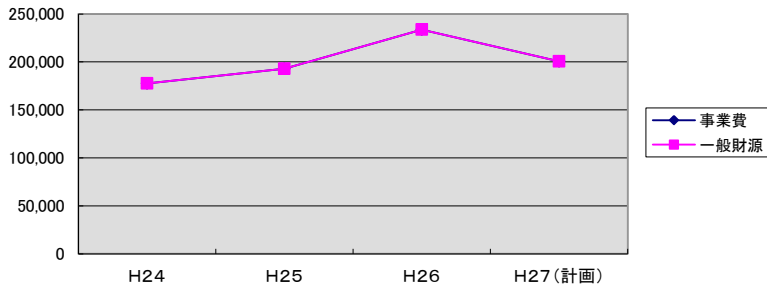
施策担当部・課	教育委員会 文化学習課
関係課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	177,551	177,551	193,031	193,031	233,634	233,634	200,715	200,715
市民一人 当たり【円】	5,872	5,872	6,463	6,463	7,912	7,912	6,850	6,850

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

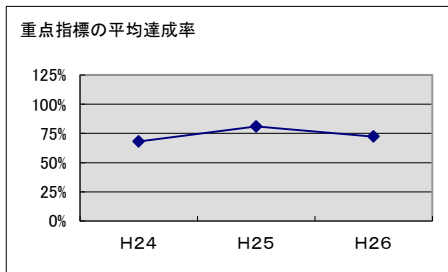
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	68.1%	80.9%	72.3%

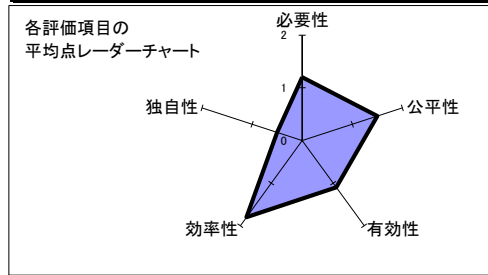
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.2 / 2	1.5 / 2	1.1 / 2	1.8 / 2	0.5 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	5	5		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		10		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	金津創作の森入場者数	人	152,629	137,654	229,014	130,841		150,000
②								
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

文化財保護計画の策定は、自然・歴史資源の保存と活用の基本であり、今後策定する必要がある。文化財・埋蔵文化財の調査については、資料の蓄積が進んでいるが、情報発信までに至っていない。これらを郷土歴史資料館の企画、運営とも連携しながら取り組んでいく。文化協議会では、企画委員会が観月の夕べ・文化祭等の企画運営を行っているが、会員が高齢化しているため、伝統文化の継承の上においても若年層の新規加入促進の必要がある。創作の森においては、芸術文化の発展を図るために、小中学校や若い世代を対象とした体験学習等の拡大や作家との交流を深める企画などを推進していく。

■ 行政評価委員会意見

埋蔵文化財の調査について、資料の蓄積が進む一方で情報発信まで至っていないとのことだが、資料収集の意義を鑑み、早急に改善に努められたい。
金津創作の森については、作家と市内の小中学生の交流事業やあわら温泉と連携した体験事業の拡大を図るとともに、費用対効果を踏まえた集客事業の展開を進められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

市文化会館の耐震診断後のあり方について、現時点で明確な方向性が定まっていないが、仮に廃止となった場合、その役割を代替する施設は必要に思われる。今後の方針をできるだけ早い段階で示されたい。
また、行政評価委員会の意見にも類似するが、文化、芸術の振興について、金津創作の森の作品をあわら温泉の街中や旅館に展示し観光地の魅力向上につなげるなど、相乗効果が図られる手法も検討し実施に努められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	文化財保護計画の策定と推進	483	483	0	0	0	0	711	711	指定(登録)文化財件数	件	実績 61	62	63	65	↑	1	1	1	2	0	B	現状維持	95	文化学習課
											達成	93.8%	95.4%	96.9%											
2	文化財・埋蔵文化財の調査	9,116	9,116	3,510	3,510	6,461	6,461	8,774	8,774	埋蔵文化財発掘調査件数	箇所	実績 22	22	22	35	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	96	文化学習課
											達成	62.9%	62.9%	62.9%											
3	自然・歴史資源の保存と活用	6,824	6,824	10,631	10,631	9,399	9,399	9,667	9,667	指定(登録)文化財件数	件	実績 45	45	46	65	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	97	文化学習課
											達成	69.2%	69.2%	70.8%											
4	埋蔵文化財センターの管理運営	1,942	1,942	20,080	20,080	60,447	60,447	18,366	18,366	分類(整理済)点数	点	実績 150	150	150	300	↑	1	2	1	2	1	A	現状維持	98	文化学習課
											達成	50.0%	50.0%	50.0%											
5	文化振興事業の開催	16,029	16,029	15,728	15,728	14,273	14,273	16,419	16,419	観月の夕べ来場者数	人	実績 8,400	27,000	20,000	30,000	↑	1	2	1	2	1	A	現状維持	99	文化学習課
											達成	28.0%	90.0%	66.7%											
6	文化活動団体の育成・支援	4,077	4,077	4,081	4,081	4,071	4,071	4,071	4,071	文化協議会加入者数	人	実績 780	841	790	860	↑	1	1	1	2	0	B	現状維持	100	文化学習課
											達成	90.7%	97.8%	91.9%											
7	伝統文化の継承と情報発信	6,179	6,179	4,619	4,619	2,111	2,111	2,111	2,111	伝統芸能発表会等開催団体数	団体	実績 5	4	5	10	↑	1	1	1	2	0	B	現状維持	101	文化学習課
											達成	50.0%	40.0%	50.0%											
8	金津創作の森の管理運営	130,373	130,373	131,852	131,852	134,350	134,350	138,074	138,074	施設利用者数	人	実績 137,654	229,014	130,841	150,000	↑	1	1	2	1	1	B	現状維持	102	文化学習課
											達成	91.8%	152.7%	87.2%											
9	芸術・創作活動の支援	814	814	815	815	811	811	811	811	友の会会員数	人	実績 266	279	277	300	↑	1	2	1	2	1	A	現状維持	103	文化学習課
											達成	88.7%	93.0%	92.3%											
10	地域資源との連携	1,714	1,714	1,715	1,715	1,711	1,711	1,711	1,711	各種観光団体・施設等との連携事業数	件	実績 56	58	54	100	↑	1	1	1	1	1	B	現状維持	104	文化学習課
											達成	56.0%	58.0%	54.0%											
11											実績														
											達成														
12											実績														
											達成														
13											実績														
											達成														
14											実績														
											達成														
15											実績														
											達成														
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 17

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	土地利用の適正化
事務事業数		3

施策の目的	土地の用途に応じた計画的な土地利用を推進し、少子高齢化に対応した住環境づくりや商業の活性化、歴史や文化を生かしたまちづくりを進める。
-------	--

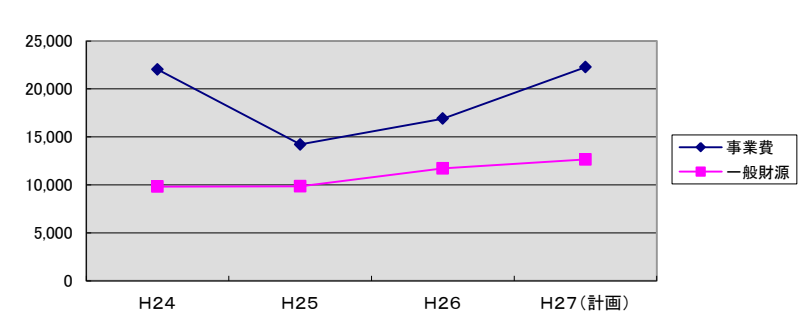
施策担当部・課	土木部 建設課	
関係課	農林水産課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	22,028	9,812	14,214	9,857	16,907	11,726	22,269	12,654
市民一人 当たり【円】	728	324	476	330	573	397	760	432

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

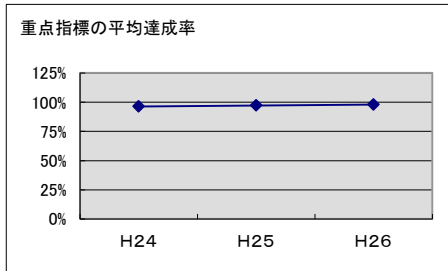
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	96.5%	97.2%	97.9%

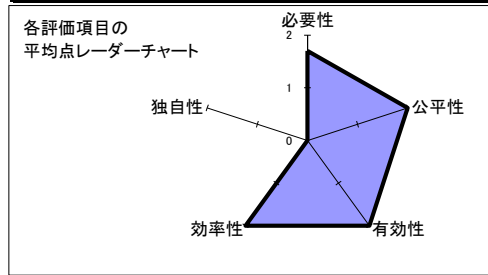
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.7 / 2	2.0 / 2	2.0 / 2	2.0 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	3			

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		3		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①								
②								
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

人口が減少することで空き建物や空き地の増加が進み、地域では店舗などが減少する恐れがあり、人口減少に伴い活力が低下し地域コミュニティの喪失につながる。
都市計画マスタープランに基づき、環境・社会(コミュニティ)的に持続可能な都市づくりを行うとともに、立地適正化計画との整合性を図る。また、必要な都市施設の整備を進めながら適切な土地利用の規制・誘導により安心して住み続けられる生活環境の整備を進める。

■ 行政評価委員会意見

都市計画マスタープランの策定に当たってはコンパクトシティの概念を取り入れながら、用途地域の見直しを図るよう進められたい。
また、地籍調査について、進んでいないものや中断している箇所がある。現状を整理しながら事業実施に努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	計画的な土地利用の推進	2,029	2,029	3,008	3,008	3,506	3,506	3,941	3,941	区画整理事業の進捗率	%	実績 45.3	45.3	45.3	46.5	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	105	建設課
											達成	97.4%	97.4%	97.4%											
2	農業振興地域の見直し	1,070	1,070	1,431	1,431	1,421	1,421	1,421	1,421	農用地面積	ha	実績 3,542	3,543	3,539	3,543	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	106	農林水産課
											達成	100.0%	100.0%	99.9%											
3	地籍調査の推進	18,929	6,713	9,775	5,418	11,980	6,799	16,907	7,292	地籍調査実施済面積	Km ²	実績 5.0	5.1	5.2	5.4	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	107	農林水産課
											達成	92.0%	94.3%	96.3%											
4											実績														
											達成														
5											実績														
											達成														
6											実績														
											達成														
7											実績														
											達成														
8											実績														
											達成														
9											実績														
											達成														
10											実績														
											達成														
11											実績														
											達成														
12											実績														
											達成														
13											実績														
											達成														
14											実績														
											達成														
15											実績														
											達成														
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 18

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	道路交通網の整備
事務事業数		6

施策の目的	国道や県道、市道などの種別又は特性に応じた道路の整備を進めながら、快適で機能的な交通ネットワークの構築を推進する。
-------	---

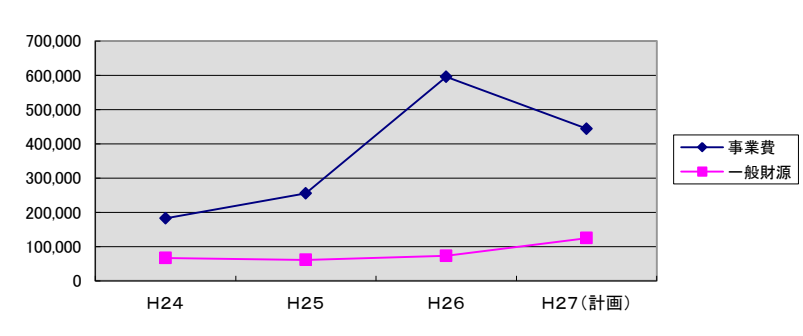
施策担当部・課	土木部 建設課
関係課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	182,155	66,322	255,082	61,074	595,659	72,999	443,948	124,527
市民一人 当たり【円】	6,024	2,193	8,540	2,045	20,172	2,472	15,152	4,250

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

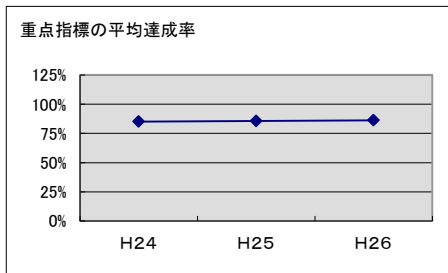
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	85.0%	85.5%	86.3%

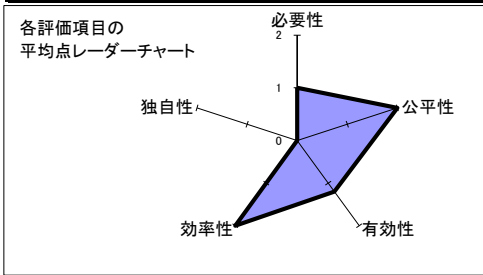
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.2 / 2	2.0 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	5		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		6		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	道路が効率的・効果的に整備されていると考えている市民の割合	%	45.1	43.0	44.5	42.5		50.0
②	都市計画道路の整備率	%	54.9	56.5	56.5	56.5		59.0
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

公共事業費の縮小化が進む中、北陸新幹線の開業や国道福井バイパスの供用開始が期待されている。新幹線について金沢まで開業されたが敦賀までについては前倒し開業に向けて強力に事業を推進している。国道バイパスについては平成30年の福井国体開催が決定され早急に工事を進めるため予算の獲得等要望している。こうした中、少ない事業予算を獲得し橋梁の長寿命化対策や重要度の低い路線の見直しを進め集中的な道路施設の整備を推進し計画的な修繕等を行う。

■ 行政評価委員会意見

本施策については、北陸新幹線開業に伴う情勢を十分に考慮し、南中央線等の東西の交通網の整備を重点的に進められたい。
また、道路や橋梁といったインフラの老朽化に対する対策は今後重要となってくるが、それらには多額の事業費を要することから、橋梁の長寿命化や道路建設の見直しを行いながら、人口減少も視野に入れ計画的に取り組むよう努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	国道の整備促進	1,447	1,447	1,471	1,471	893	893	1,461	1,461	国道8号の進捗率	%	実績 20.0	20.0	25.0	60.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	108	建設課
											達成 33.3%	33.3%	41.7%												
2	県道の整備促進	143	143	787	787	781	781	781	781	県管理道路の改良率	%	実績 93.0	93.1	93.1	95.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	109	建設課
											達成 97.9%	98.0%	98.0%												
3	市道・橋りよの改良・整備	167,180	59,347	248,901	54,893	588,618	65,958	438,480	119,059	市道の改良率	%	実績 87.8	87.8	87.9	90.0	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	110	建設課
											達成 97.6%	97.6%	97.7%												
4	道路計画の策定	357	357	72	72	142	142	142	142	道路が効率的・効果的に整備されていると考えている市民の割合	%	実績 43.0	44.5	42.4	50.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	111	建設課
											達成 86.0%	89.0%	84.8%												
5	雪に強い道づくり	13,028	5,028	3,851	3,851	5,083	5,083	2,942	2,942	消雪設備の整備済延長	m	実績 8,700	8,700	8,700	8,900	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	112	建設課
											達成 97.8%	97.8%	97.8%												
6	歩道の整備	0	0	0	0	142	142	142	142	歩道整備延長	m	実績 30,217	30,217	30,268	31,000	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	113	建設課
											達成 97.5%	97.5%	97.6%												
7											実績														
											達成														
8											実績														
											達成														
9											実績														
											達成														
10											実績														
											達成														
11											実績														
											達成														
12											実績														
											達成														
13											実績														
											達成														
14											実績														
											達成														
15											実績														
											達成														
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 19

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	新幹線開業に向けた周辺整備
事務事業数		3

施策の目的
着工が認可された北陸新幹線金沢～敦賀間の事業促進に努めるとともに、平成26年度の金沢開業に向けた駅周辺整備など、ハード・ソフト両面における取り組みを進める。また、並行在来線の取り扱いについても、市の財政負担が過大とならない運営方法等を検討する。

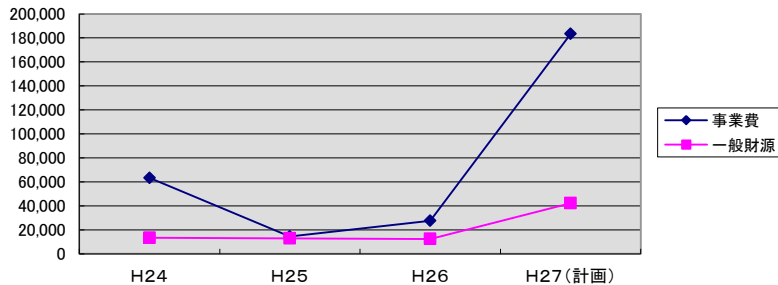
施策担当部・課	土木部 建設課	
関係課	市民生活課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	63,243	13,343	14,357	12,906	27,511	12,411	183,474	42,274
市民一人 当たり【円】	2,092	441	481	432	932	420	6,262	1,443

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

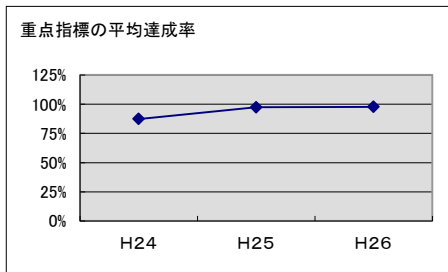
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	87.4%	97.3%	97.7%

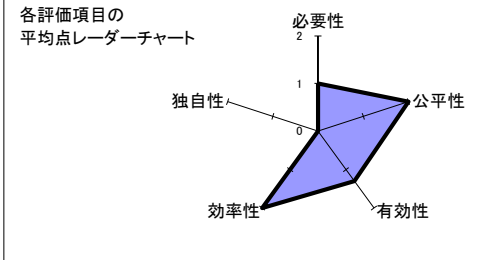
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.3 / 2	2.0 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	3			

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①								
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

駅周辺整備には、長い期間と多額の事業費が必要となる。また、土地買収及び建物等物件補償が多数あり、地元説明会を行い関係者の理解を得る必要がある。
新幹線事業と併せ関連事業を推進し、市民との協働による持続的な運営を図る。
効率的に事業運営を図るには、関係機関と連携しながら新幹線事業と併せて駅周辺のまちづくりを進めていく。

■行政評価委員会意見

新しい新幹線駅のコンセプトについては、市のイメージを印象付ける重要なファクターであることから、芦原温泉駅周辺整備計画の見直しに合わせ、市民や関係者との合意形成を図りながら慎重に進められたい。
また、新幹線開業に伴い発生する並行在来線に対する市の財政負担が大きくなるように、県、他市町と協力し、財政当局との連携を図りながらこれら新幹線関連事業の推進に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

平成28年度に芦原温泉駅周辺整備基本計画の改定を行い、それに沿って今後の新幹線開業に向けた整備を進めるとのことだが、並行在来線の運営方針など、現時点で情報が錯乱しているように見受けられる。整備概要や財政負担が不透明にならないように適切な情報開示を行い、市民や関係者との合意形成を図られたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	北陸新幹線開業に向けた取り組み	6,677	6,677	8,582	8,582	10,248	10,248	34,986	34,986	要望回数	回	実績 5	5	5	5	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	114	建設課
2	並行在来線への対応	71	71	72	72	71	71	71	71	協議会開催回数	回	実績 0	2	0	2	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	115	市民生活課
3	芦原温泉駅周辺の整備	56,495	6,595	5,703	4,252	17,192	2,092	148,417	7,217	事業進捗率	%	実績 11.2	13.8	14.3	15.0	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	116	建設課
4												実績													
												達成													
5												実績													
												達成													
6												実績													
												達成													
7												実績													
												達成													
8												実績													
												達成													
9												実績													
												達成													
10												実績													
												達成													
11												実績													
												達成													
12												実績													
												達成													
13												実績													
												達成													
14												実績													
												達成													
15												実績													
												達成													
16												実績													
												達成													
17												実績													
												達成													
18												実績													
												達成													
19												実績													
												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 20

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	機能的なまちの整備と景観への配慮
事務事業数		12

施策の目的
公園や住環境など、機能的な都市環境の整備と維持に努めるとともに、景観に配慮したまちづくりを進める。また、デマンドタクシーの運行、公共交通機関の運行支援を通して、総合的な交通体系の構築に努める。

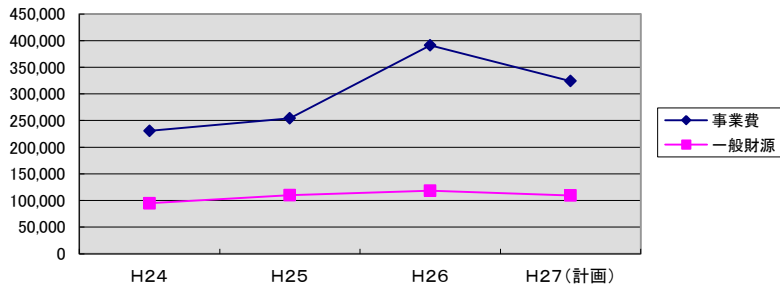
施策担当部・課	土木部 建設課	
関係課	市民生活課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	230,617	94,663	253,972	109,812	391,030	118,226	324,136	109,255
市民一人 当たり【円】	7,627	3,131	8,503	3,676	13,242	4,004	11,063	3,729

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

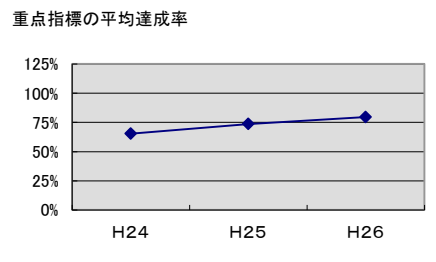
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	65.4%	73.6%	79.5%

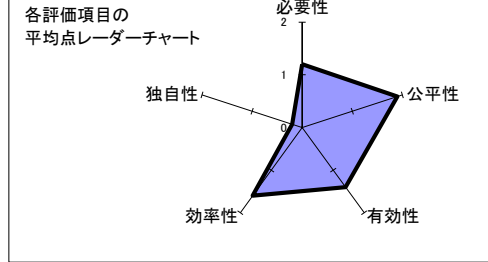
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.2 / 2	1.9 / 2	1.4 / 2	1.6 / 2	0.2 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	4	8		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	10	1	

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	公共交通機関が効果的に運行されていると考える市民の割合	%	23.4	23.1	23.8	24.8		25.0
②	景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合	%	16.9	17.5	17.0	22.3		20.0
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

魅力ある住環境と景観に配慮したまちづくりを進めるとともに、高齢化社会に対応した公共交通機関の運行支援を行う。デマンド交通は運行開始から3年経過し、登録者や利用者は共に増加しており、市民に定着しつつある。今後も、利用者の増加が継続した場合、タクシー事業者の保有車両で運行が可能であるのか等の課題があるが、利用状況を把握し業者の協力のもと事業継続を図る。

■ 行政評価委員会意見

景観計画区域の指定地区がゼロであるが、魅力ある住環境と景観に配慮したまちづくりを進める上で、住民との合意形成を図るために必要なことであるため指定に努められたい。併せて、景観まちづくり協議会についても、平成26年度に金津地区で設立されたが、温泉街における設立も検討されたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	都市公園・緑地の整備・管理	29,138	25,638	25,799	22,299	134,204	26,685	71,756	32,396	管理団体による維持管理作業回数	回	実績 18	18	18	19	↑	1	2	2	1	0	B	現状維持	117	建設課
2	河川緑地の管理	4,932	3,591	6,068	4,818	4,102	2,859	4,822	3,572	地域の団体による草刈の回数	回	実績 11	11	14	16	↑	1	2	1	1	0	B	現状維持	118	建設課
3	市営住宅の適正な管理	121,664	3,447	131,983	8,445	163,790	18,475	155,082	4,082	長寿命化整備率	%	実績 25.0	41.2	42.1	72.0	↑	2	1	2	1	0	B	縮小	119	建設課
4	住宅耐震化の促進	5,627	4,427	3,559	2,659	3,680	1,344	2,863	1,089	木造住宅耐震診断実施件数	件	実績 10	5	5	10	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	120	建設課
5	省エネルギー住宅の普及促進	3,077	3,077	3,895	3,895	1,865	1,865	1,671	1,671	太陽光発電システム補助件数(累計)	件	実績 163	204	255	280	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	121	市民生活課
6	市営駐車場の管理運営	5,769	0	5,990	0	6,544	0	7,747	0	駐車場利用台数(時間制)	台	実績 31,250	35,774	38,962	30,000	↑	1	2	2	1	0	B	現状維持	122	市民生活課
7	放置自転車対策	1,975	1,975	4,002	4,002	798	798	851	851	放置自転車撤去台数	台	実績 103	34	58	50	↓	1	2	1	1	0	B	現状維持	123	市民生活課
8	景観計画の推進	1,217	1,217	1,728	1,728	1,065	1,065	328	328	景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合	%	実績 17.5	17.0	22.3	20.0	↑	1	2	1	2	1	A	現状維持	124	建設課
9	美しい景観づくりのための規制と誘導	2,783	2,783	3,720	3,720	6,966	6,966	6,966	6,966	景観計画区域の指定地区	地区	実績 0	0	0	2	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	125	建設課
10	市民による景観活動の推進	2,140	2,140	1,717	1,717	924	924	924	924	景観まちづくり協議会設置数	組織	実績 0	0	1	2	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	126	建設課
11	デマンド方式による公共交通の運行	16,154	10,227	28,327	19,345	30,015	20,168	32,336	18,586	乗合タクシー一日当たり利用者数	人	実績 73	86	97	100	→	1	2	1	2	0	B	拡大	127	市民生活課
12	公共交通の利用促進と運行支援	36,141	36,141	37,184	37,184	37,077	37,077	38,790	38,790	えち鉄湯のまち駅乗降客数	人	実績 257,619	240,130	241,192	209,000	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	128	市民生活課
13												実績													
14												達成													
15												実績													
16												達成													
17												実績													
18												達成													
19												実績													
20												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 21

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	上水道事業の運営
事務事業数		3

施策の目的	水源地や配水池、給水施設の適正な維持管理に努め、安全でおいしい水の供給と事業の安定経営に努める。
-------	--

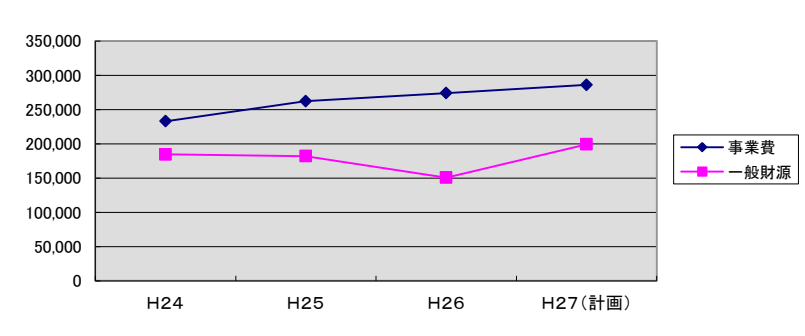
施策担当部・課	土木部 上下水道課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	232,940	184,397	262,213	181,952	274,060	150,668	285,868	199,083
市民一人 当たり【円】	7,704	6,098	8,779	6,092	9,281	5,102	9,757	6,795

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

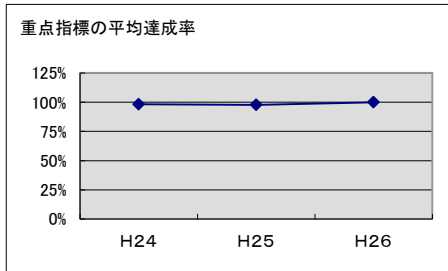
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	98.1%	97.6%	100.0%

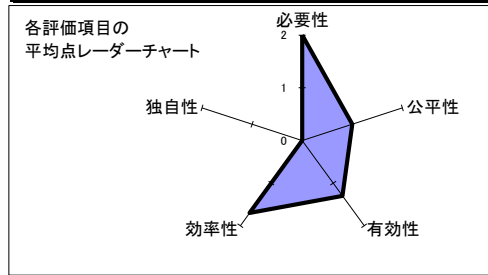
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	2.0 / 2	1.0 / 2	1.3 / 2	1.7 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数		3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		3		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	安全でおいしい水が供給されていると考える市民の割合	%	72.7	77.5	74.6	78.4		80.0
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

水道事業の主要な収益である給水収益は、給水人口の減少、節水器具の普及、少子高齢化等の要因により年々減少しており、不足分を一般会計の補てんを受けており、更なる経費圧縮を進める必要がある。
 上水道の水源地は、契約水量制により県水道事業からの受水により賄っているが、給水量の減少により余剰水量が出てきており、県水道事業に対し契約水量の見直しを要望している。また、施設の老朽化が急速に進むなか、財源的にすべての経年管を更新することが不可能であるため、更新対象施設を絞り込みながら推進する。

■行政評価委員会意見

上水道は、安全な水道水が安定的に供給されて当然の社会基盤であり、安定的な事業運営のためには、施設の適正な維持管理や計画的な財源確保を行わなければならない。契約水量や県水受水計画の見直しに合わせ、平成28年度に向けて水道料金の改正も視野に入れた検討を行うよう努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。
 なお、福井県から求められている県営の用水供給事業の移管については、事業費や維持管理費の大幅な増加も予想されることから、慎重に対応されたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	水道施設の整備・管理	116,163	67,620	154,188	73,927	166,582	43,190	177,715	90,930	有収率	%	実績 88.1	90.0	92.1	90.0	↑	2	1	1	2	0	B	現状維持	129	上下水道課
2	安全で安定した水の供給	84,886	84,886	74,836	74,836	73,631	73,631	73,826	73,826	安全でおいしい水が供給されていると考える市民の割合	%	実績 77.5	74.6	78.4	80.0	↑	2	1	1	2	0	B	現状維持	130	上下水道課
3	水道料金の適正な徴収	31,891	31,891	33,189	33,189	33,847	33,847	34,327	34,327	収納率(現年度)	%	実績 99.1	99.0	99.1	99.5	↑	2	1	2	1	0	B	現状維持	131	上下水道課
4												実績													
												達成													
5												実績													
												達成													
6												実績													
												達成													
7												実績													
												達成													
8												実績													
												達成													
9												実績													
												達成													
10												実績													
												達成													
11												実績													
												達成													
12												実績													
												達成													
13												実績													
												達成													
14												実績													
												達成													
15												実績													
												達成													
16												実績													
												達成													
17												実績													
												達成													
18												実績													
												達成													
19												実績													
												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 22

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	下水道事業の運営
事務事業数		5

施策の目的	計画的な公共下水道事業の推進と処理施設の維持管理を図るとともに、受益者負担金や使用料の適正徴収による安定的な事業運営に努める。
-------	---

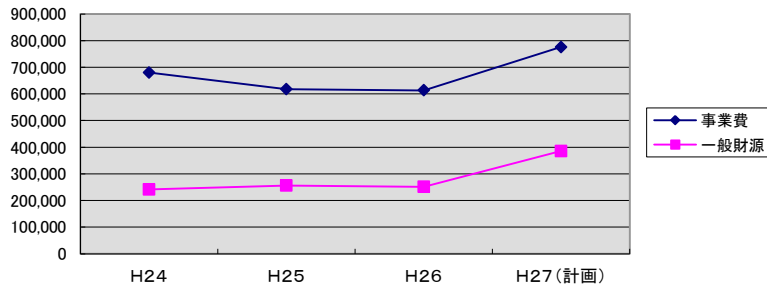
施策担当部・課	土木部 上下水道課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	679,832	241,228	617,317	256,236	613,368	251,245	775,781	385,340
市民一人 当たり【円】	22,483	7,978	20,667	8,579	20,772	8,508	26,477	13,152

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

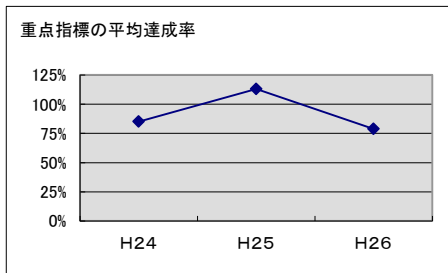
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	85.1%	113.0%	78.9%

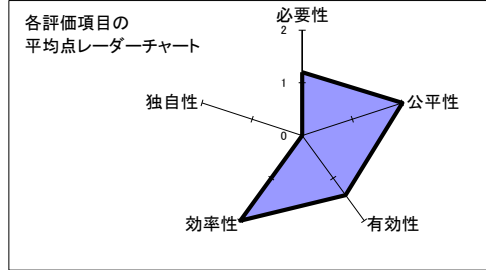
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.2 / 2	2.0 / 2	1.4 / 2	2.0 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	3	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		5		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	計画区域内公共下水道接続率	%	89.0	90.0	90.2	91.0		95.0
②	下水道使用料収納率	%	95.1	97.8	97.6	97.5		96.0
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

平成27年3月末の公共下水道整備率81.8%、水洗化率91.0%、未整備地区の早期整備と併せて下水道接続の向上を図り、今後の施設延命化による長寿命化事業も含め財源確保や更新等の対応を図る。
農業集落排水事業施設は、2処理区を平成28年度から順次公共下水道へ編入し管理経費の軽減を図る。市街地の浸水対策の整備率が22.7%、今後の豪雨に対する浸水対策を講じる必要がある。
下水道使用料および受益者負担金の収納は、未納者に対して徴収強化を図り法令等に基づき適正に対処していきたい。

■行政評価委員会意見

公平性と安定的な収益を確保するため、引き続き接続率の向上に努められたい。
また、老朽化対策を講じるとともに、経営状況を勘案しながら料金改定等も視野に入れ、計画的な事業推進と安定経営に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	公共下水道の整備と運営	511,897	73,997	427,227	66,527	407,105	45,325	505,503	115,503	下水道接続率	%	実績 90.0	90.2	91.0	95.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	132	上下水道課
2	農業集落排水事業施設の維持管理	42,476	42,476	43,133	43,133	66,925	66,925	71,198	71,198	収納率	%	実績 99.6	92.0	99.6	100.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	133	上下水道課
3	浸水対策下水道の整備	11,423	11,423	59,190	59,190	45,359	45,359	102,559	102,559	雨水渠年間布設延長	m	実績 99	180	34	100	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	134	上下水道課
4	下水道事業受益者負担金等の適正な徴収	113,018	113,018	85,302	85,302	90,723	90,723	92,383	92,383	収納率(現年度)	%	実績 97.8	97.6	97.5	99.0	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	135	上下水道課
5	浄化槽設置の推進	1,018	314	2,465	2,084	3,256	2,913	4,138	3,697	合併処理浄化槽設置事業補助金利用件数	件	実績 1	3	2	3	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	136	上下水道課
6												実績													
7												達成													
8												実績													
9												達成													
10												実績													
11												達成													
12												実績													
13												達成													
14												実績													
15												達成													
16												実績													
17												達成													
18												実績													
19												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 23

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	地域防災の強化
事務事業数		11

施策の目的	地域防災計画の見直しと津波ハザードマップの作成を行い、これらに基づき組織、体制、設備の充実を図るとともに、自主防災組織の設立促進や意識の啓発を通して、災害に強いまちづくりを進める。
-------	--

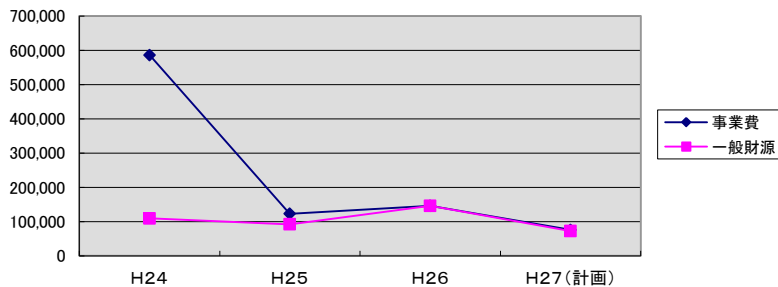
施策担当部・課	総務部 総務課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	585,813	109,113	122,628	91,834	145,819	145,819	75,405	72,016
市民一人当たり【円】	19,373	3,608	4,106	3,075	4,938	4,938	2,574	2,458

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

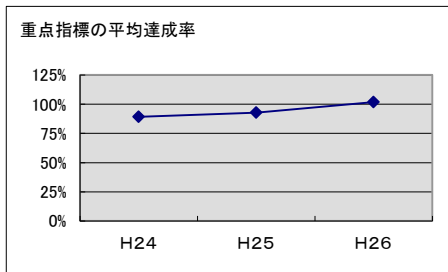
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	89.2%	92.8%	101.7%

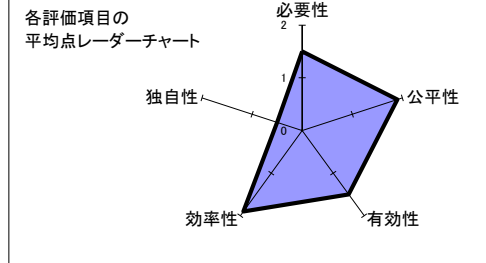
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.5 / 2	1.9 / 2	1.5 / 2	1.9 / 2	0.5 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	9	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	2	9		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	自主防災組織の設立数(131区中) ※平成26年度から132区	区	67	79	86	94		100
②	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	%	25.7	33.7	33.0	35.8		30.0
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

防災行政無線の再整備を実施するとともに災害情報テレホンサービスによる災害時の情報伝達手段を確保しながら、防災ガイドブック、ホームページ、facebookといった手段による啓発を行うことで、市民の防災意識の向上を図っている。
また、自主防災組織については全集落での組織設立の促進と、設置済の組織の育成を図り、災害に強いまちづくりを推進していく。

■行政評価委員会意見

自主防災組織数をはじめ、各指標がおおむね順調に推移していることは評価できる。災害時要援護者台帳への登録については、これまでも対象者へのダイレクトメールや地区福祉懇談会等の機会に関係者と情報を共有しながら登録推進を行っているがあまり成果が上がっていない。引き続き、潜在者に対する広報強化を図り登録推進を行うとともに、災害時に台帳が効果的に機能するよう制度の充実に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

自主防災組織について、人口規模が小さく組織づくりが困難な集落もあるとのことだが、その場合、近隣の複数区で一つの組織を立ち上げることも有効である。今後も、全集落での組織設立に向けて、積極的な働きかけを行うよう努

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	地域防災計画の見直し	8,133	8,133	2,645	2,645	8,285	8,285	8,588	5,199	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	%	実績 33.7	33.0	35.8	33.3	↑	2	2	2	2	1	A	現状維持	137	総務課
											達成 101.2%	99.2%	107.5%												
2	自主防災組織の設立の促進と支援	2,786	2,786	3,000	3,000	3,690	3,690	4,320	4,320	自主防災組織数	区	実績 79	86	94	106	↑	1	1	2	2	1	A	現状維持	138	総務課
											達成 74.5%	81.1%	88.7%												
3	災害時の要援護者支援の推進	143	143	143	143	142	142	167	167	要援護者台帳登録者	人	実績 931	902	913	1,100	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	139	総務課
											達成 84.6%	82.0%	83.0%												
4	危機管理体制の充実	71	71	143	143	96	96	96	96	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	%	実績 33.7	33.0	35.8	33.3	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	140	総務課
											達成 101.2%	99.1%	107.5%												
5	消防施設・設備の充実	521,494	44,794	29,711	29,711	2,170	2,170	5,221	5,221	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	%	実績 33.7	33.0	35.8	33.3	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	141	総務課
											達成 101.2%	99.1%	107.5%												
6	消防団の強化	13,004	13,004	12,645	12,645	11,169	11,169	12,071	12,071	一般隊員年間訓練回数	回	実績 8	10	11	7	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	142	総務課
											達成 114.3%	142.9%	157.1%												
7	除雪体制の充実	30,868	30,868	54,920	24,126	34,502	34,502	33,484	33,484	雪に強いまちづくり支援事業採択件数	件	実績 6	7	8	8	↑	1	2	2	1	0	B	拡大	143	建設課
											達成 75.0%	87.5%	100.0%												
8	防災意識の啓発	500	500	501	501	380	380	429	429	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	%	実績 33.7	33.0	35.8	33.3	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	144	総務課
											達成 101.2%	99.1%	107.5%												
9	防災訓練の実施	3,102	3,102	3,124	3,124	2,995	2,995	1,733	1,733	総合防災訓練の実施済区数	区	実績 53	60	69	132	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	145	総務課
											達成 40.2%	45.5%	52.3%												
10	防災行政無線整備と管理	5,284	5,284	15,367	15,367	82,032	82,032	9,154	9,154	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	%	実績 33.7	33.0	35.8	33.3	↑	1	2	1	2	2	A	現状維持	146	総務課
											達成 101.2%	99.1%	107.5%												
11	地域防災システムの構築	428	428	429	429	358	358	142	142	災害時の相互応援協定を締結した団体	件	実績 26	26	30	30	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	147	総務課
											達成 86.7%	86.7%	100.0%												
12											実績														
											達成														
13											実績														
											達成														
14											実績														
											達成														
15											実績														
											達成														
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 24

施策区分	ゆう区分	結【生活基盤、情報、防災】
	基本施策	安心なまちづくりの推進
事務事業数		9

施策の目的	防犯隊による防犯活動の充実と住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪の起きにくいまちづくりを進める。また、安全教育や施設整備などによる交通安全の推進や消費者保護の推進により、安心して生活できるまちを目指す。
-------	---

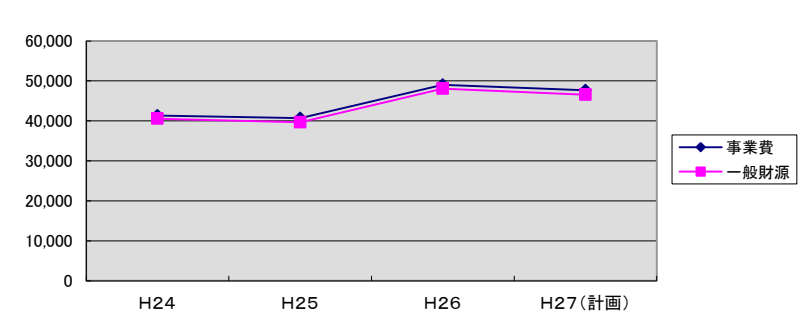
施策担当部・課	市民福祉部 市民生活課	
関係課	総務課	建設課

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	41,362	40,575	40,736	39,666	49,068	48,048	47,661	46,581
市民一人当たり【円】	1,368	1,342	1,364	1,328	1,662	1,627	1,627	1,590

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

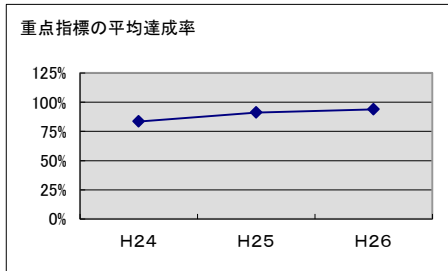
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	83.6%	91.1%	93.8%

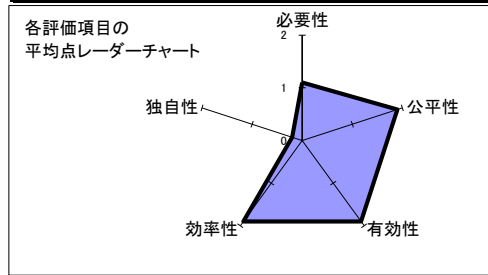
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.1 / 2	1.9 / 2	1.9 / 2	1.9 / 2	0.2 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	8	1		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	2	7		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	犯罪が少なく安心して暮らせるまちだと考える市民の割合	%	72.7	77.4	80.0	82.0		75.0
②	消費者保護対策が充実していると考えられる市民の割合	%	21.6	21.2	21.3	23.6		30.0
③	交通事故発生件数	件	110	95	87	84		95
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

安心安全なまちづくりのために防犯隊員や交通指導員、警察等の関係団体が連携して継続的に見回り活動や街頭指導を行っている。事件や交通事故、消費者トラブルを未然に防ぐには、継続した啓発活動を行うとともに広報紙やホームページを活用した情報提供が重要であり、今後も市民の意識啓発と自己防衛力を高める啓発事業を推進する。

■ 行政評価委員会意見

安全安心なまちづくり施策については、高齢化の進行を背景として、今後ますます重要なものとなってくる。そのため、Aランクの事務事業が多いのにも関わらず、今後の方針で現状維持が多いことに違和感を覚える。多様化する消費者行政など、事業費を伴わず、体制強化などで施策を拡大することが可能であることから、関係機関との連携を図りながら施策推進に努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。なお、事務事業にはないが、全国の自治体で課題となっている空き家問題についても、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす危険があることから、空き家対策の推進に関する特別措置法に準じて積極的な解消に努められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	防犯対策の充実・強化	5,631	5,631	13,624	13,624	23,630	23,630	20,961	20,961	防犯灯設置事業補助金における新規設置(取替えを含む。)数	基	実績 194	730	1,317	1,000	↑	1	1	2	1	0	B	現状維持	148	総務課
											達成 19.4%	73.0%	131.7%												
2	防犯隊活動の充実	11,724	11,724	5,646	5,646	5,267	5,267	6,639	6,639	犯罪が少なく安心して暮らしている人の割合	%	実績 77.4	80.0	82.0	80.0	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	149	総務課
											達成 96.8%	100.0%	102.5%												
3	暴力追放運動の推進	1,008	1,008	1,010	1,010	941	941	397	397	暴力団が関係した事犯数	件	実績 1	1	0	0	↓	1	2	1	2	1	A	現状維持	150	総務課
											達成 -	-	-												
4	交通安全教育の充実	2,212	2,212	1,430	1,430	1,422	1,422	1,422	1,422	各種交通教室の開催数	回	実績 144	151	171	150	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	151	市民生活課
											達成 96.0%	100.7%	114.0%												
5	交通安全団体との連携	857	857	858	858	855	855	855	855	関係団体との連携回数	回	実績 7	7	7	7	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	152	市民生活課
											達成 100.0%	100.0%	100.0%												
6	交通安全施設の整備・管理	9,640	9,640	9,627	9,627	8,706	8,706	9,630	9,630	交通事故発生件数	件	実績 95	87	84	95	↓	1	2	2	2	0	A	現状維持	153	建設課
											達成 100.0%	109.2%	113.1%												
7	交通安全対策の充実	4,019	4,019	3,894	3,894	4,029	4,029	4,029	4,029	交通事故発生件数	件	実績 95	87	84	95	↓	1	2	2	2	0	A	拡大	154	市民生活課
											達成 100.0%	109.2%	113.1%												
8	相談体制の充実・強化	2,141	2,141	1,789	1,789	1,421	1,421	1,421	1,421	消費生活相談年間件数	件	実績 92	82	57	150	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	155	市民生活課
											達成 61.3%	54.7%	38.0%												
9	消費者の意識啓発	4,130	3,343	2,858	1,788	2,797	1,777	2,307	1,227	出前講座の開催回数	回	実績 95	82	38	100	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	156	市民生活課
											達成 95.0%	82.0%	38.0%												
10											実績														
											達成														
11											実績														
											達成														
12											実績														
											達成														
13											実績														
											達成														
14											実績														
											達成														
15											実績														
											達成														
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 25

施策区分	ゆう区分	裕【産業】
	基本施策	農業の振興
事務事業数		11

施策の目的	市の基幹産業の一つである農業について、担い手育成や遊休地対策、近代化への支援などの経営基盤の強化を図るとともに、生産基盤の整備と充実に努め、その振興を図る。
-------	--

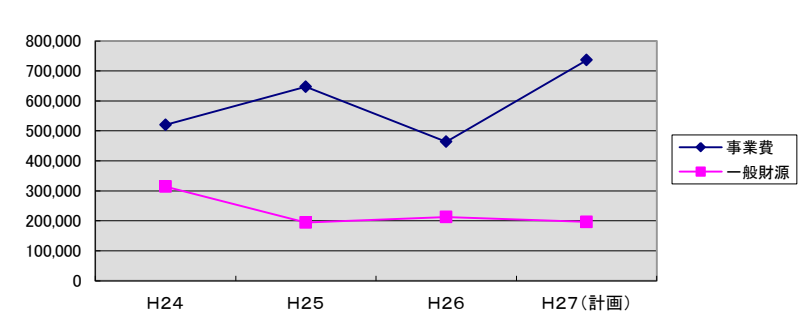
施策担当部・課	経済産業部 農林水産課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	520,412	314,096	647,549	194,023	463,927	212,958	736,334	196,079
市民一人当たり【円】	17,211	10,387	21,680	6,496	15,711	7,212	25,131	6,692

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

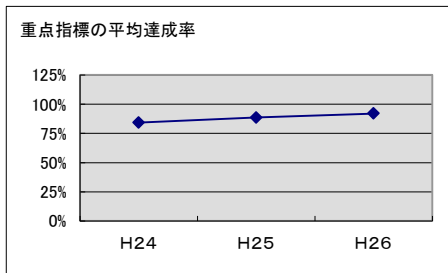
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	84.1%	88.5%	92.1%

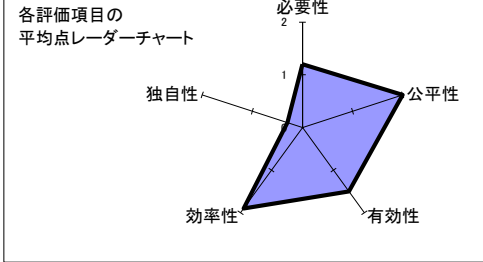
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.2 / 2	2.0 / 2	1.5 / 2	1.9 / 2	0.3 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	8	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	7	4		

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

水田農業については、集落営農及び法人化を推し進めてきたが、構成員の高齢化による後継者の確保・育成が課題となっている。さらに米価の下落に対応するため農地集積を行い、作業の効率化や省力化を図っている。坂井北部丘陵地においても、農業者の高齢化や後継者不足による遊休農地や耕作放棄地の解消を図るため新規就農者や企業の農業参入を進めている。
中山間地域等については、鳥獣害による農作物被害の軽減を図るため、侵入防止柵の適切な維持管理と捕獲による個体数削減に継続して取り組んでいく。

■行政評価委員会意見

農業者の高齢化と後継者不足の問題については、定年退職者に対し集落営農組織への新規加入を促進するなど、新規就農者の確保のための取組に努められたい。
地場農産物の販売促進の指標にさららの丘の販売額を掲げているが、目標達成が困難な現状が見受けられる。集客力のあるイベントを開催するなど、農協に働きかける必要がある。
また、TPPの影響を配慮した各種対策についても、国の動向を注視しながら、柔軟な対策を講じられたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	認定農業者数	経営体	101	100	100	106		110
②	坂井北部丘陵地の耕作率	%	65.0	68.0	67.7	69.0		65.0
③	学校給食における地元食材の使用率	%	43.4	44.9	48.2	50.2		48.0
④	新規就農者数	人	0	6	6	6		10
⑤								

※「④新規就農者数」は、目標期間(H23からH27)における新規就農者の認定数累計とする。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	担い手の育成と支援	9,342	6,094	11,901	7,103	16,185	6,728	16,029	7,719	担い手への農地集積面積	ha	実績 1,861	1,874	1,927	1,940	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	157	農林水産課
												達成 95.9%	96.6%	99.3%	▲										
2	農地の有効活用と遊休地対策	9,670	4,996	9,967	5,293	10,458	6,184	10,173	5,899	耕作放棄地面積	ha	実績 48	45	46	40	↓	2	2	2	2	0	A	現状維持	158	農林水産課
												達成 83.2%	89.5%	87.1%	▲										
3	経営近代化への支援	61,744	16,544	29,736	17,257	93,612	28,008	130,676	52,287	農地集積面積	ha	実績 1,599	1,662	1,756	1,800	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	159	農林水産課
												達成 88.8%	92.3%	97.6%	▲										
4	有害鳥獣対策	12,293	7,068	27,161	11,370	27,714	12,514	16,104	10,600	農作物被害額(イノシシ)	千円	実績 7,847	7,934	6,200	3,900	↓	2	2	1	2	0	A	拡大	160	農林水産課
												達成 49.7%	49.2%	62.9%	▲										
5	農業基盤の整備と管理	359,835	227,343	380,891	104,949	260,458	113,873	502,552	73,389	水田の大区画化面積	ha	実績 1,376	1,384	1,390	1,406	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	161	農林水産課
												達成 97.9%	98.4%	98.9%	▲										
6	農業関係団体との連携	37,898	29,755	38,208	30,329	38,333	30,516	37,765	29,948	生産数量目標に対する作付率	%	実績 99.8	99.9	99.5	100.0	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	162	農林水産課
												達成 99.8%	99.9%	99.5%	▲										
7	地産地消の促進と安全な食の提供	501	501	505	505	645	645	802	802	学校給食における地元食材の使用率	%	実績 44.9	48.2	50.2	50.0	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	163	農林水産課
												達成 89.8%	96.4%	100.4%	▲										
8	地場農産物の販売促進	214	214	130,215	215	213	213	142	142	ファーマーズマーケット「きららの丘」の販売額	千円	実績 355,000	330,000	339,000	385,000	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	164	農林水産課
												達成 92.2%	85.7%	88.1%	▲										
9	6次産業化の推進	1,403	285	143	143	142	142	142	142	農産物生産加工販売農業者数	人	実績 5	6	6	6	↑	1	2	2	1	1	A	現状維持	165	農林水産課
												達成 83.3%	100.0%	100.0%	▲										
10	環境保全型農業の推進	14,431	8,215	5,143	3,180	5,272	3,240	11,054	4,256	カバークロープの作付による化学肥料・農薬を5割以上低減した面積	ha	実績 27	26	27	35	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	166	農林水産課
												達成 77.1%	73.7%	77.4%	▲										
11	北部丘陵地の保全	13,081	13,081	13,679	13,679	10,895	10,895	10,895	10,895	丘陵地における利用権設定面積	ha	実績 163	221	244	240	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	167	農林水産課
												達成 67.9%	92.3%	101.6%	▲										
12												実績													
												達成													
13												実績													
												達成													
14												実績													
												達成													
15												実績													
												達成													
16												実績													
												達成													
17												実績													
												達成													
18												実績													
												達成													
19												実績													
												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 26

施策区分	ゆう区分	裕【産業】
	基本施策	林業の振興
事務事業数		3

施策の目的	後継者の確保や、生産コスト削減のための施設整備を推進し、県産材の需要拡大をはじめとする林業の振興を図る。
-------	--

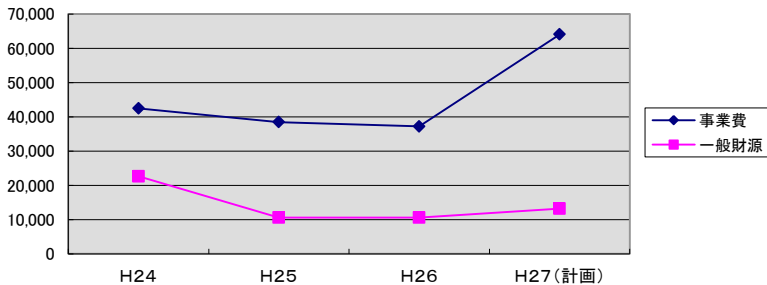
施策担当部・課	経済産業部 農林水産課
関係課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	42,414	22,576	38,459	10,571	37,185	10,572	64,064	13,145
市民一人 当たり【円】	1,403	747	1,288	354	1,259	358	2,186	449

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

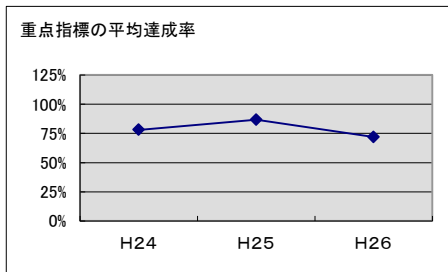
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	78.1%	86.8%	71.8%

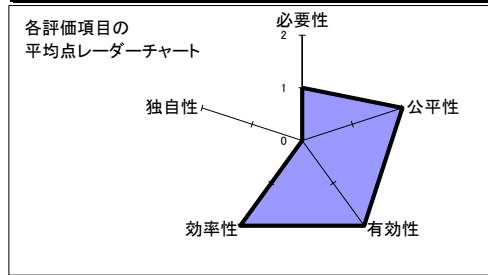
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	2.0 / 2	2.0 / 2	0.0 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	3			

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		3		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①								
②								
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

林業を取り巻く環境は、収益性の低下や就業者の減少、高齢化に伴い、これまで行われてきた生産活動を維持することが困難となってきている。
 今後は後継者の確保に加え、林産物の品質向上や生産コスト削減のための林業施設の整備を推進するとともに、市および県産材の需要拡大に取り組むほか、森林の持つ多面的機能を発揮させるため、関係団体と連携し植林や間伐、病害虫の防除などを促進する。また、間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定を東京都港区と締結しているほか、木粉・ペレット製造事業を支援することにより、間伐材等の木質バイオマスへの利用を促進する。

■ 行政評価委員会意見

収益性の低下や就業者の減少、高齢化などの問題は解消されていないことから、坂井森林組合をはじめ市内の関係組織と連携を図りながら、間伐等の管理を促進するとともに、大量消費地に対する働きかけや市産材の活用を促進し、林業の振興を図るよう努められたい。
 また、近年、環境負荷の少ない再生可能エネルギーとして注目されている木質バイオマス等への利用にも努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

重油価格の下落により、木質バイオマス燃料の優位性が低くなり、利用促進が進みにくい現状だと察するが、再生可能エネルギーの導入・普及の促進は重要な課題である。坂井森林組合や民間事業者が進めている木質バイオマス事業について、将来性や採算性を勘案し、妥当な支援や連携を図りながら事業を進められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	林道の整備と管理	10,497	1,497	21,035	3,055	19,286	2,836	46,246	5,446	基幹林道剣ヶ岳線の整備延長	m	実績 10,432	10,873	11,034	15,471	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	168	農林水産課
2	間伐の促進と森林環境の保全	31,572	20,734	16,957	7,049	17,418	7,255	17,397	7,278	年間間伐面積	ha	実績 37	42	23	40	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	169	農林水産課
3	経営体制の強化	345	345	467	467	481	481	421	421	木材搬出量	m ³	実績 2,228	2,540	2,600	3,000	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	170	農林水産課
4												実績													
5												達成													
6												実績													
7												達成													
8												実績													
9												達成													
10												実績													
11												達成													
12												実績													
13												達成													
14												実績													
15												達成													
16												実績													
17												達成													
18												実績													
19												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 27

施策区分	ゆう区分	裕【産業】
	基本施策	漁業の振興
事務事業数		2

施策の目的	北潟湖や波松海岸などで行われる漁業の振興に努めるとともに、漁業をテーマとしたブルーツーリズムや観光漁業の推進を図る。
-------	--

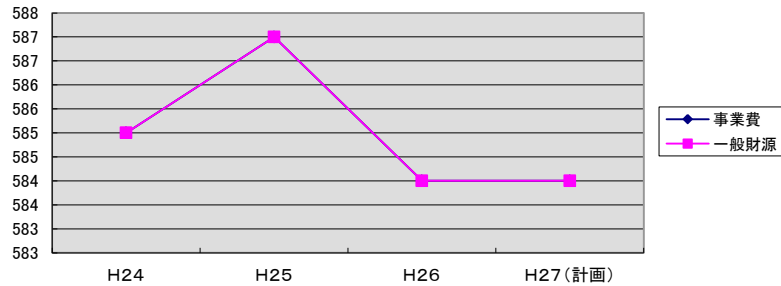
施策担当部・課	経済産業部 農林水産課
関係課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	585	585	587	587	584	584	584	584
市民一人当たり【円】	19	19	20	20	20	20	20	20

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

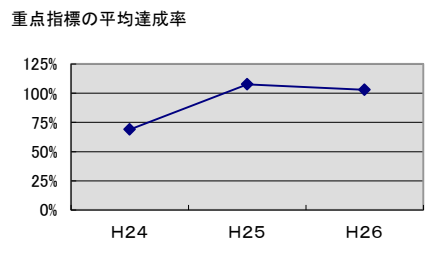
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	68.9%	107.6%	103.0%

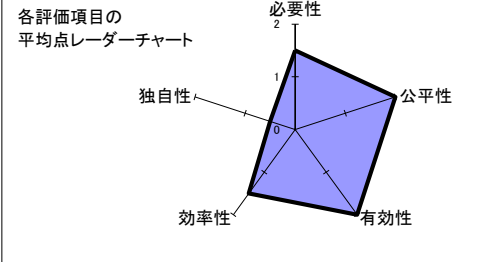
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.5 / 2	2.0 / 2	2.0 / 2	1.5 / 2	0.5 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	2			

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		2		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①								
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

沿岸漁業のコウナゴ漁は、近年漁獲の減少が続いている。内水面漁業のフナ、コイ、ワカサギの自然繁殖は、護岸整備により産卵場所が喪失されているが、稚魚放流で資源の回復がみられる魚種もある。遊漁者については、減少に歯止めがかり増加傾向にある。今後も水産資源の維持を図るため、稚魚放流による育てる漁業を推進していく。

■行政評価委員会意見

各指標は順調に推移していることが認められる。今後も観光漁業への普及を進めながら、消費拡大を図る新たな事業推進に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価					事業No	所管課		
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性			ランク	方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	水産業の振興	514	514	515	515	513	513	513	513	漁獲高	kg	実績 1,647	3,495	2,058	2,800	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	171	農林水産課
2	観光漁業の推進	71	71	72	72	71	71	71	71	遊漁者数	人	実績 395	452	662	500	↑	1	2	2	1	1	A	現状維持	172	農林水産課
3												実績 達成													
4												実績 達成													
5												実績 達成													
6												実績 達成													
7												実績 達成													
8												実績 達成													
9												実績 達成													
10												実績 達成													
11												実績 達成													
12												実績 達成													
13												実績 達成													
14												実績 達成													
15												実績 達成													
16												実績 達成													
17												実績 達成													
18												実績 達成													
19												実績 達成													
20												実績 達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 28

施策区分	ゆう区分	裕【産業】
	基本施策	工業の振興
事務事業数		5

施策の目的	既存工業団地への企業誘致を進めるとともに、既存企業への支援を通して、事業所や企業が活動しやすいまちづくりを進める。
-------	---

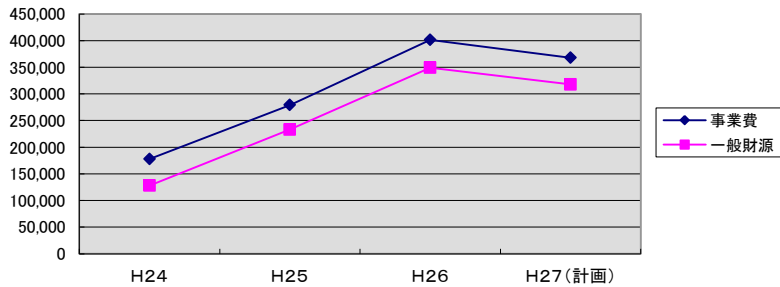
施策担当部・課	経済産業部 観光商工課	
関係課	上下水道課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	178,038	128,018	279,081	233,071	401,588	349,078	367,808	317,798
市民一人 当たり【円】	5,888	4,234	9,343	7,803	13,600	11,822	12,553	10,846

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)

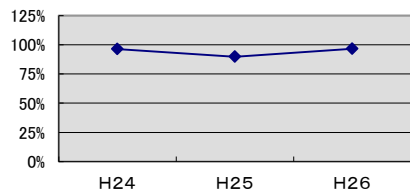


■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	96.4%	89.8%	96.5%

※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)

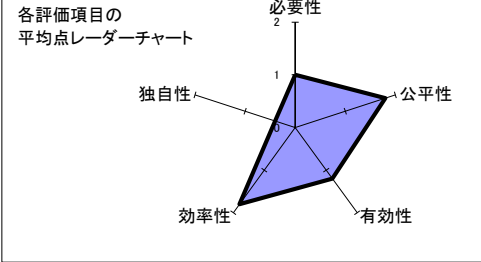
重点指標の平均達成率



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	1.8 / 2	1.2 / 2	1.8 / 2	0.4 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	4		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	2	3		

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

県内経済が回復しつつある中、26年度には、市内の2工場が操業し、2工場が着工した。この4工場の事業投資額の合計は、99.8億円で、新規雇用者は61人を予定している。今後も、海外景気の下振れなどが景気を下押しするリスクとなっているものの、その動向に留意しながら市内企業の設備投資を推進する必要がある。また、古屋石塚テクノパークの未売却の工業用地については、いくつかの企業と交渉したが、契約には至らず、今後も県内外の企業に対する誘致活動を強化していく。

■行政評価委員会意見

工業団地の未売却地については、雇用拡大と税収増という当初の目的を達成するため、引き続き売却に向け強力に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	年間製造品出荷額	億円	1,305	1,711	1,711	1,752		1,200
②								
③								
④								
⑤								

※「①年間製造品出荷数」のH24数値は、H24年度工業統計における速報値を使用。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	企業誘致の推進	119,281	119,261	222,998	222,988	338,244	338,234	306,842	306,832	工場誘致実績数(累計)	件	実績 8	8	8	15	↑	1	1	2	1	1	B	拡大	173	観光商工課
												達成 53.3%	53.3%	53.3%											
2	既存立地企業への支援	2,378	2,378	2,403	2,403	3,192	3,192	3,192	3,192	市の年間製造品出荷額(県工業統計調査)	億円	実績 1,711	1,711	1,752	1,200	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	174	観光商工課
												達成 142.6%	142.6%	146.0%											
3	中小企業の振興支援	52,699	2,699	49,540	3,540	55,953	3,453	53,426	3,426	年度内融資額(工業分)	千円	実績 137,550	101,010	130,000	150,000	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	175	観光商工課
												達成 91.7%	67.3%	86.7%											
4	工業用水の安定供給	3,609	3,609	4,068	4,068	4,128	4,128	4,277	4,277	工業用水年間供給可能量	m ³	実績 730,000	730,000	730,000	730,000	→	1	2	1	2	0	B	現状維持	176	上下水道課
												達成 -	-	-											
5	新分野研究開発への支援	71	71	72	72	71	71	71	71	市内事業所数	社	実績 1,272	1,248	1,300	1,300	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	177	観光商工課
												達成 97.8%	96.0%	100.0%											
6												実績													
												達成													
7												実績													
												達成													
8												実績													
												達成													
9												実績													
												達成													
10												実績													
												達成													
11												実績													
												達成													
12												実績													
												達成													
13												実績													
												達成													
14												実績													
												達成													
15												実績													
												達成													
16												実績													
												達成													
17												実績													
												達成													
18												実績													
												達成													
19												実績													
												達成													
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 29

施策区分	ゆう区分	裕【産業】
	基本施策	商業の振興
事務事業数		4

施策の目的	商工会などと連携しながら、にぎわい創出のための活動や人材育成などに取り組み、JR芦原温泉駅周辺と芦原温泉街における中心市街地の活性化と商業の振興を図る。
-------	--

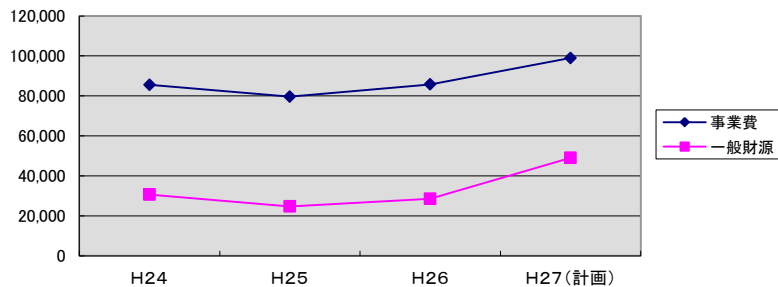
施策担当部・課	経済産業部 観光商工課	
関係課	政策課	建設課

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	85,507	30,554	79,664	24,711	85,724	28,542	98,973	48,973
市民一人当たり【円】	2,828	1,010	2,667	827	2,903	967	3,378	1,671

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

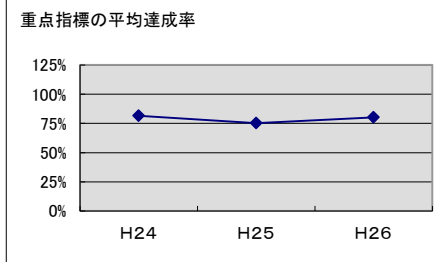
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	81.5%	75.3%	80.1%

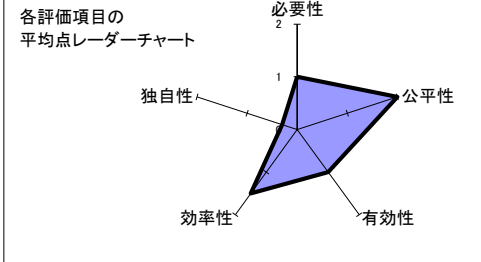
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.0 / 2	1.5 / 2	0.3 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	3	1		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	年間商品販売額	億円	265	200	-	-		280
②	日用品などの買い物がしやすいと考える市民の割合	%	53.4	54.1	51.7	55.8		60.0
③								
④								
⑤								

※「①年間商品販売額」におけるH23数値はH19商業統計、H24数値はH24経済センサスによる。

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

JR芦原温泉駅周辺と芦原温泉街の両市街地は、自家用車の普及や郊外の住宅地開発、大規模小売店の郊外立地などによる長期にわたる都市機能の郊外移転、また事業主の高齢化や後継者不足、少子高齢化など地域社会の構造変化により空洞化が進行している。
このような状況の中、北陸新幹線の延伸を見据えた市街地の拠点整備や創業支援による新たな事業者の創出、競技かるたを題材とする「ちはやふる関連事業」などの新たな交流人口を生み出す取り組みを効果的に実施し、商工会等との連携を強化しながら市街地の賑わい創出を図る必要がある。

■ 行政評価委員会意見

商業を振興し、中心市街地の活性化を図るためには、思い切った施策展開が必要である。地方創生に伴う国の助成等を最大限に活用しながら、商工会や金融機関等の関係機関と連携を密にし、改革に向き合う事業者に対する支援を強化するよう努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

特に、JR芦原温泉駅周辺の市街地に活気が感じられないことから、aキューブの利活用や空き店舗対策等の活性化策を積極的に講じることで、賑わい創出や経済好循環の推進に努められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	個性と活力あふれる商業活動の推進	55,153	5,153	51,998	1,998	58,401	5,901	68,874	18,874	年度内融資額(商業分)	千円	実績 137,550	101,010	130,000	150,000	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	178	観光商工課
2	商店街の活性化とにぎわいの創出	10,809	5,856	10,229	5,276	9,766	5,084	12,441	12,441	空き店舗チャレンジ店数(累計)	店	実績 6	6	6	8	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	179	観光商工課
3	関係団体との連携	16,849	16,849	16,862	16,862	16,885	16,885	17,103	17,103	商工会組織率	%	実績 64.9	64.6	64.5	70.0	↑	1	2	1	1	0	B	拡大	180	観光商工課
4	活性化のための人材育成と支援	2,696	2,696	575	575	672	672	555	555	研修会・改善アドバイス・支援モデル事業所数	事業所	実績 8	8	8	12	↑	1	2	1	1	0	B	拡大	181	観光商工課
5												実績													
6												達成													
7												実績													
8												達成													
9												実績													
10												達成													
11												実績													
12												達成													
13												実績													
14												達成													
15												実績													
16												達成													
17												実績													
18												達成													
19												実績													
20												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 30

施策区分	ゆう区分	裕【産業】
	基本施策	雇用環境の充実
事務事業数		3

施策の目的	雇用環境の充実と就業機会の確保、就労に関する情報の発信、就労に必要な技能習得の支援などを通して、雇用環境の充実を図る。
-------	---

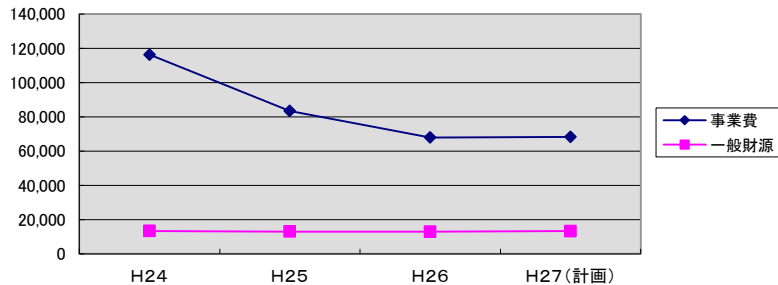
施策担当部・課	経済産業部 観光商工課
関係課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	116,235	13,358	83,415	12,979	67,934	12,934	68,189	13,189
市民一人 当たり【円】	3,844	442	2,793	435	2,301	438	2,327	450

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

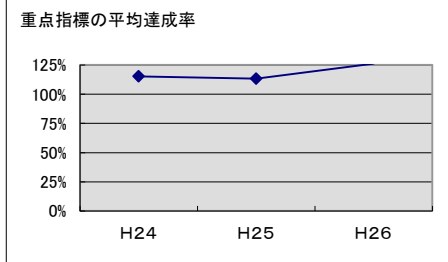
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	115.1%	113.2%	126.3%

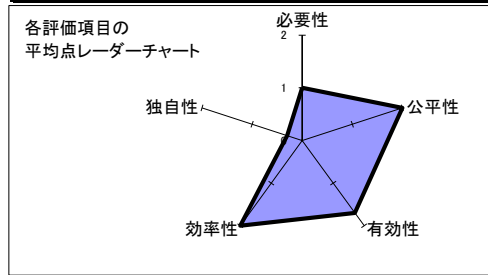
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.7 / 2	2.0 / 2	0.3 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	2	1		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		3		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	有効求人倍率	倍	1.31	1.57	1.74	2.40		1.00
②	働きやすい環境が整っていると考える市民の割合	%	29.8	30.7	32.7	34.5		35.0
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

三国公共職業安定所管内の有効求人倍率は、2.44倍となり、前年度比0.70ポイント増加した。また、新規高等学校卒業予定者を対象とした求人数は前年比2.9%増加した。求人数的増加の一方で、多くの求職者が希望する正社員求人の割合は30.2%と低調であったが、雇用情勢については、改善が進んでいる。
このような状況の中、雇用環境の充実と就業機会の確保を図るため企業誘致と市内企業の設備投資を推進するとともに、公共職業安定所との連携強化を図り、就業にかかる情報発信の強化を図る必要がある。また、市内企業の求める労働力と就職希望者のニーズのマッチングを促進するため、高校生や大学生などの職場体験を進める。

■ 行政評価委員会意見

雇用環境の改善・支援は、移住定住の推進に大きく寄与するものである。今後は、福井労働局との連携を強化し、首都圏等の都市部に向けたPRを強固に進めるなど、あらゆる手段を講じて市内外へ雇用情報の発信を行うとともに、地元雇用の推進に向けた施策の実施に努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

福井県は全国トップレベルの有効求人倍率で働き口が多いが、求人と求職者のニーズがうまくマッチングできていない実態がある。これまで以上に企業間の情報交換や外部、特に県外への情報発信を強化し、UIJターンとの推進と連動した雇用情勢の改善に努められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	就労環境の整備	46,925	9,048	23,922	8,486	8,448	8,448	8,408	8,408	働きやすい環境が整っていると考える市民の割合	%	実績 30.7	32.7	34.5	35.0	↑	1	2	2	2	1	A	現状維持	182	観光商工課
2	職業能力の開発支援	71	71	72	72	71	71	71	71	有効求人倍率 (ハローワーク三国管内)	倍	実績 1.6	1.7	2.4	1.0	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	183	観光商工課
3	生活安定のための支援	69,239	4,239	59,421	4,421	59,415	4,415	59,710	4,710	(生活安定資金) 融資額	千円	実績 48,830	38,090	20,170	50,000	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	184	観光商工課
4											実績														
5											達成														
6											実績														
7											達成														
8											実績														
9											達成														
10											実績														
11											達成														
12											実績														
13											達成														
14											実績														
15											達成														
16											実績														
17											達成														
18											実績														
19											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 31

施策区分	ゆう区分	遊【交流】
	基本施策	観光の振興
事務事業数		19

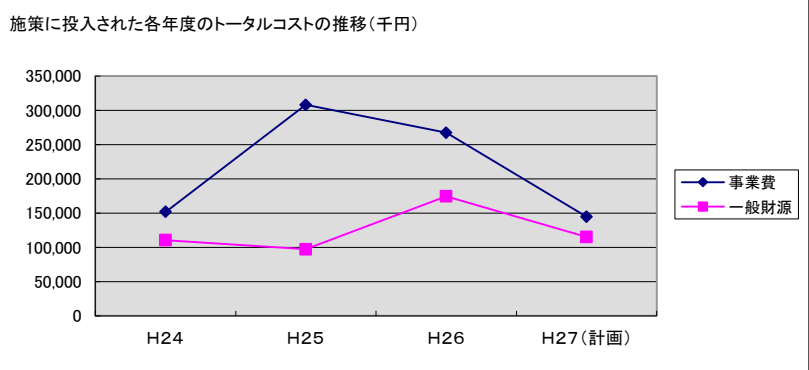
施策の目的	市民や事業者、関係団体、市などが連携して、広域観光や着地型観光、人材育成、情報発信などに取り組み、あわら市の基幹産業の一つである観光の振興を図る。
-------	---

施策担当部・課	経済産業部 観光商工課
関係課	

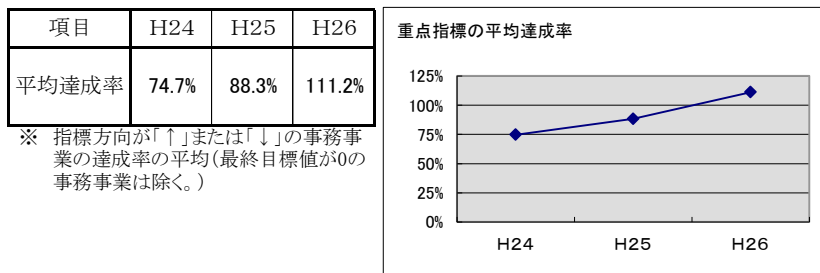
■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	151,570	110,511	307,813	97,031	267,159	174,164	144,272	114,749
市民一人 当たり 【円】	5,013	3,655	10,305	3,249	9,047	5,898	4,924	3,916

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)



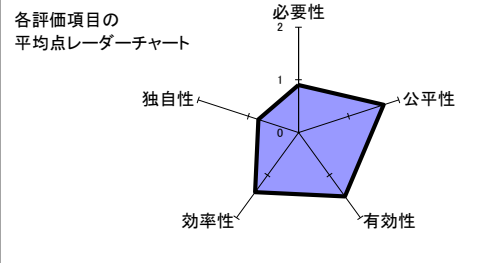
■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	0.9 / 2	1.7 / 2	1.5 / 2	1.4 / 2	0.8 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	8	11		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	15	4		

■ 施策の指標・目標

	指 標 名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	観光入り込み客数	万人	125.82	138.18	154.95	181.92		140.00
②	宿泊観光客数	万人	71.69	79.93	80.70	80.84		82.00
③	観光地としての魅力があると考える市民の割合	%	15.0	15.6	18.1	23.2		20.0
④	観光情報などが効果的に発信されていると考える市民の割合	%	14.5	12.6	16.8	23.4		20.0
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

観光客入込数は、観光協会と連携しながら誘客や知名度向上のための活動に取り組んだ結果、景気の回復基調もあり、平成24年度から増加に転じている。さらには、3月の北陸新幹線金沢開業により、北陸に日本中から注目が集まっていることから、この好機を生かし、北陸新幹線対策各種事業やあわら温泉130周年祭事業、ちはやふる関連事業などを実施し、本市の魅力アップと首都圏等における知名度の向上を一層図る必要がある。

■ 行政評価委員会意見

昨年度から引き続き、各指標はおおむね順調に推移していることが認められる。しかしながら、北陸新幹線金沢開業の外的要因による効果が大いと考えられるため、現状を楽観視せず県内延伸にシフトした観光誘客策を継続的かつ効果的に遂行するよう努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

インバウンドを含めた観光客入込数や宿泊観光客数の目標設定が低いように思われる。観光ボランティアガイドやコンシェルジュの育成や観光地におけるWi-Fiの整備など、受け入れ態勢の充実も図りながら、効果的な観光振興策を講じられたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	推進体制の整備と充実	16,073	16,073	13,590	13,590	14,848	14,848	14,848	14,848	観光入込客数	人	実績 1,381,800	1,549,507	1,819,200	1,400,000	↑	1	1	2	1	1	B	拡大	185	観光商工課
												達成 98.7%	110.7%	129.9%											
2	関係団体との連携強化	13,288	11,285	4,986	4,986	4,197	4,197	3,913	3,913	観光まちづくり団体数	団体	実績 5	11	11	8	↑	1	1	2	1	0	B	現状維持	186	観光商工課
												達成 62.5%	137.5%	137.5%											
3	インバウンド誘客の推進	1,847	995	1,547	547	1,440	1,440	3,842	3,842	外国人の観光入込客数	人	実績 4,228	6,951	6,531	6,000	↑	1	1	2	1	0	B	拡大	187	観光商工課
												達成 70.5%	115.9%	108.9%											
4	泉源の保護	1,090	1,090	807	807	802	802	802	802	泉井稼働率	%	実績 46.0	46.0	46.0	56.0	↑	1	1	1	1	1	B	現状維持	188	観光商工課
												達成 82.1%	82.1%	82.1%											
5	市内地域資源の連携	71	71	0	0	0	0	0	0	観光地として魅力があると思われる市民の割合	%	実績 15.6	18.8	23.2	20.0	↑	0	2	1	1	1	B	現状維持	189	観光商工課
												達成 78.0%	94.0%	115.8%											
6	近隣観光地との連携	3,313	3,313	3,674	3,674	4,781	4,781	4,284	4,284	観光入込客数	人	実績 1,381,800	1,549,507	1,819,200	1,400,000	↑	1	2	2	1	2	A	拡大	190	観光商工課
												達成 98.7%	110.7%	129.9%											
7	広域観光の推進	3,497	3,497	3,218	3,218	3,601	3,601	3,885	3,885	あわら温泉宿泊観光客数	人	実績 799,300	806,950	808,372	820,000	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	191	観光商工課
												達成 97.5%	98.4%	98.6%											
8	ニューツーリズムの推進	2,588	2,088	1,715	1,715	2,066	2,066	1,711	1,711	オンパク参加者数	人	実績 597	548	805	650	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	192	観光商工課
												達成 91.8%	84.3%	123.8%											
9	滞在型・回遊型観光の推進	70,659	38,405	243,304	38,472	195,296	106,001	67,522	41,699	あわら温泉宿泊観光客数	人	実績 799,300	806,950	808,372	820,000	↑	1	2	2	2	2	A	拡大	193	観光商工課
												達成 97.5%	98.4%	98.6%											
10	地域ブランド商品の開発と販売	1,300	1,300	2,436	2,436	2,503	2,503	2,137	2,137	開発支援した商品数(累計)	品	実績 1	2	12	5	↑	1	2	1	1	0	B	拡大	194	観光商工課
												達成 20.0%	40.0%	240.0%											
11	おもてなしの心の醸成	643	393	572	322	571	571	571	571	マイスター数	人	実績 219	219	219	250	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	195	観光商工課
												達成 87.6%	87.6%	87.6%											
12	観光ガイドの育成	325	325	572	572	571	571	571	571	市民ガイド登録数 (観光ボランティアガイド数)	人	実績 11	11	79	100	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	196	観光商工課
												達成 11.0%	11.0%	79.0%											
13	人材の発掘と連携	71	71	72	72	71	71	71	71	観光まちづくり団体数	団体	実績 5	11	11	8	↑	1	2	2	2	1	A	拡大	197	観光商工課
												達成 62.5%	137.5%	137.5%											
14	フィルムコミッション事業	4,245	4,245	5,976	5,976	10,951	10,951	3,071	3,071	市が舞台となる映画・テレビ番組等の制作等	件	実績 1	1	1	2	↑	1	2	1	1	1	B	拡大	198	観光商工課
												達成 50.0%	50.0%	50.0%											
15	観光情報の発信	5,971	5,971	3,574	3,574	2,421	2,421	1,798	1,798	観光情報などが効果的に発信されていると考える市民の割合	%	実績 12.6	16.8	23.4	20.0	↑	1	2	2	1	0	B	拡大	199	観光商工課
												達成 63.0%	84.1%	117.2%											
16	地域資源の共有と発信	143	143	143	143	142	142	142	142	観光地として魅力があると思われる市民の割合	%	実績 15.6	18.1	23.1	20.0	↑	1	1	2	2	1	A	現状維持	200	観光商工課
												達成 78.0%	90.4%	115.5%											
17	観光宣伝の充実	2,640	2,640	2,416	2,416	2,403	2,403	1,480	1,480	あわら温泉宿泊観光客数	人	実績 799,300	806,950	808,372	820,000	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	201	観光商工課
												達成 97.5%	98.4%	98.6%											
18	きめ細かな観光案内の強化	5,781	5,781	5,696	5,696	5,843	5,843	5,871	5,871	宿泊斡旋件数	人	実績 581	576	638	700	↑	1	2	2	1	0	B	拡大	202	観光商工課
												達成 83.0%	82.3%	91.1%											
19	各種イベントの開催	18,025	12,825	13,515	8,815	14,652	10,952	27,753	24,053	北湯湖畔花菖蒲まつり来場者数	人	実績 31,500	22,600	25,000	35,000	↑	1	2	1	0	1	B	拡大	203	観光商工課
												達成 90.0%	64.6%	71.4%											
20												実績													
												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 32

施策区分	ゆう区分	遊【交流】
	基本施策	交流の推進
事務事業数		4

施策の目的	広域連合や一部事務組合など近隣自治体との事務の共同処理や高知県香美市との姉妹都市交流などによる自治体間連携を推進するとともに、友好都市紹興市などの国際交流を通して、事務の効率化と人に着目した豊かな交流を促進する。
-------	--

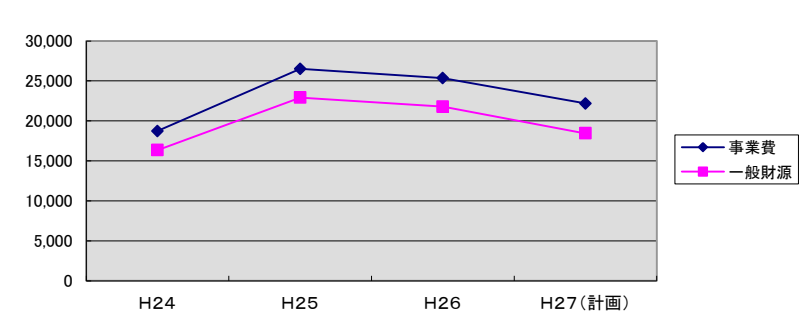
施策担当部・課	総務部 総務課	
関係課	政策課	教育総務課

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	18,732	16,359	26,501	22,910	25,347	21,775	22,176	18,441
市民一人 当たり 【円】	619	541	887	767	858	737	757	629

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

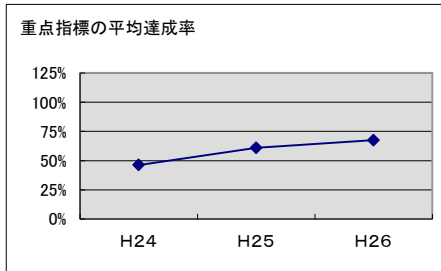
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	46.2%	61.0%	67.4%

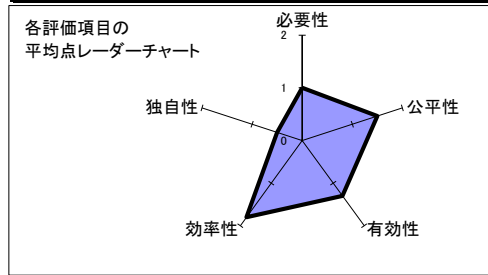
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	1.5 / 2	1.3 / 2	1.8 / 2	0.5 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	1	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数		4		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①								
②								
③								
④								
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

姉妹都市交流や友好都市交流のほか、災害時相互応援協定や観光プロモーション協定を締結した他自治体との結びつきを深め、人・物・情報・文化等の交流を促進している。
また、中学校での国際交流派遣事業では、直接、海外の人や文化に触れることにより、感性の豊かさを育てている。
今後も、人と人が直接触れ合う交流を主軸に継続的な取組みが必要である。

■ 行政評価委員会意見

国内都市交流について、平成27年11月の茨城県下妻市との姉妹都市提携も含めて、民間も参画する交流事業の実施や、平成28年度開所予定の新芦原青年の家を活用した交流事業の展開など、さらなる推進に努められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課		
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針	
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																	
1	広域連携の推進	9,490	9,490	12,426	12,426	13,176	13,176	13,569	13,569	共同処理する事務の数	事務	実績 13	13	13	13	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	204	政策課	
2	姉妹都市交流の推進	1,358	1,358	846	846	1,608	1,608	0	0	両市(高知県香美市とあわらし)の交流人数	人	実績 12	12	13	100	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	205	総務課	
3	友好交流の推進	2,359	2,359	4,926	4,926	2,563	2,563	0	0	両市(中国紹興市とあわらし)の交流人数	人	実績 16	31	44	70	↑	1	1	1	1	1	B	現状維持	206	総務課	
4	国際性豊かなひとづくり	5,525	3,152	8,303	4,712	8,000	4,428	8,607	4,872	渡航生徒数	人	実績 16	28	30	32	↑	1	1	1	2	1	B	現状維持	207	教育総務課	
5												実績														
												達成														
6												実績														
												達成														
7												実績														
												達成														
8												実績														
												達成														
9												実績														
												達成														
10												実績														
												達成														
11												実績														
												達成														
12												実績														
												達成														
13												実績														
												達成														
14												実績														
												達成														
15												実績														
												達成														
16												実績														
												達成														
17												実績														
												達成														
18												実績														
												達成														
19												実績														
												達成														
20												実績														
												達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 33

施策区分	ゆう区分	融【まちづくり、行財政】
	基本施策	市民目線に立った行政運営
事務事業数		6

施策の目的	市民参画の機会の充実やまちづくり活動への支援などを通して、市民と市がそれぞれの責任と役割を自覚し、助け合いながらまちづくりに取り組むことのできる持続可能な地域社会の実現を目指す。
-------	---

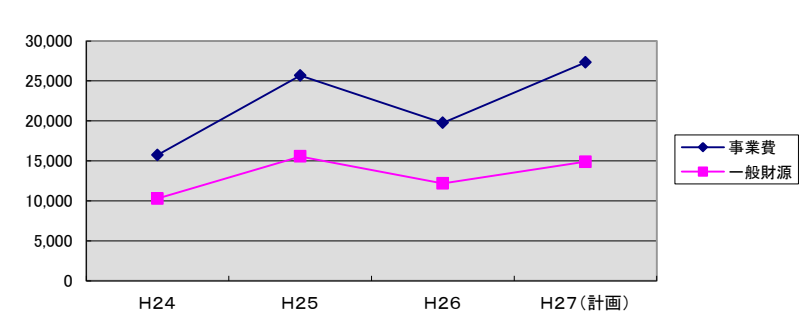
施策担当部・課	総務部 政策課	
関係課	総務課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等【千円】	15,741	10,285	25,683	15,553	19,768	12,168	27,322	14,888
市民一人当たり【円】	521	340	860	521	669	412	932	508

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

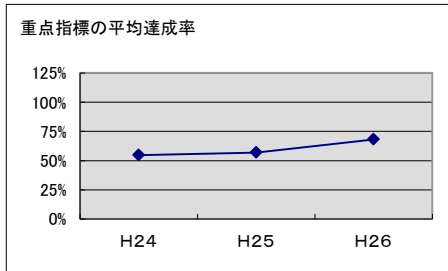
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	54.7%	57.0%	68.2%

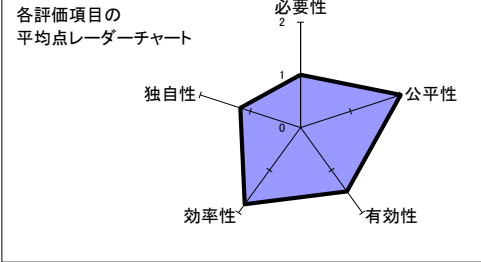
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.0 / 2	2.0 / 2	1.5 / 2	1.8 / 2	1.2 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	4	2		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	3	3		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実しているとする市民の割合	%	14.4	14.6	18.3	19.6		20.0
②	パブリックコメント手続き1件当たりの意見数	件	2	0	0	1		10
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

市民との共働によるまちづくりを推進するためには、情報を発信し、ニーズを把握して、まちづくり活動を積極的に支援することが重要である。まちづくりの主体となる自治会の活性化を図るため、自治会への加入を促進するとともに、市民が主体性を持つような事業を展開する必要がある。

■行政評価委員会意見

施策の指標である市民アンケートの結果が順調に伸びていることから、今後もさらに市民参加を促す施策を展開し、各事業を進めるよう努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

自治会への加入促進について、特に市街地において、加入しない意向の市民や加入していても区行事等に参加しない市民が増えている。転入手続きの際など、行政からも積極的に加入の呼びかけを行うことで、地域活動への参画を促す働きかけを強化されたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	まちづくり活動への支援	5,319	2,224	4,905	2,305	7,232	2,132	5,374	2,274	市民活動サポート助成助成団体数	団体	実績 3	4	4	3	→	1	2	2	2	2	A	拡大	208	政策課
2	市民参画の機会の充実	2,653	292	2,781	719	2,575	75	3,702	368	ふるさとあわらサポート基金年間寄附金額	千円	実績 2,361	2,062	3,400	6,000	↑	1	2	2	2	2	A	拡大	209	政策課
3	地域コミュニティの強化	5,218	5,218	14,433	8,965	6,016	6,016	14,045	8,045	自治会加入率	%	実績 91.3	90.8	89.7	95.0	↑	1	2	1	2	1	A	現状維持	210	総務課
4	安心して参画できるシステムの構築	2,194	2,194	1,889	1,889	2,429	2,429	2,593	2,593	ふれあい保険の支払対象割合	%	実績 100.0	100.0	100.0	100.0	↑	1	2	1	1	1	B	現状維持	211	総務課
5	広聴事業の推進	214	214	1,532	1,532	1,374	1,374	1,466	1,466	あわら市Facebookページに対する「いいね」の数	件	実績 759	1,096	1,593	2,000	↑	1	2	2	2	1	A	拡大	212	政策課
6	パブリックコメント手続の充実	143	143	143	143	142	142	142	142	パブリックコメント手続1件当たりの意見数	件	実績 0	0	1	10	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	213	政策課
7												実績 達成													
8												実績 達成													
9												実績 達成													
10												実績 達成													
11												実績 達成													
12												実績 達成													
13												実績 達成													
14												実績 達成													
15												実績 達成													
16												実績 達成													
17												実績 達成													
18												実績 達成													
19												実績 達成													
20												実績 達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 34

施策区分	ゆう区分	融【まちづくり、行財政】
	基本施策	人権の尊重
事務事業数		6

施策の目的	子どもも高齢者も、男性も女性も、障害のある人もない人も、日本人も外国人も、全ての人が相手の人権を尊重し、ともに生き、支えあう社会の実現を目指す。
-------	--

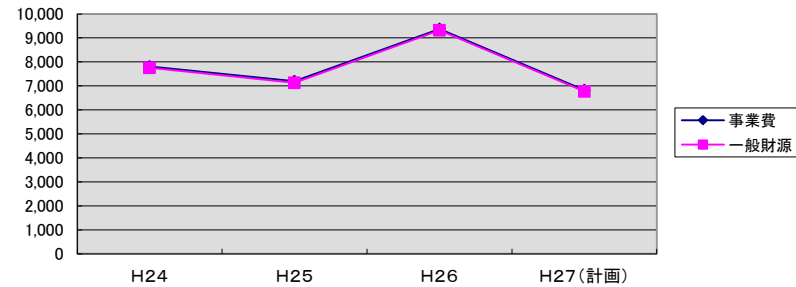
施策担当部・課	総務部 総務課	
関係課	福祉課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	7,806	7,754	7,191	7,128	9,368	9,315	6,819	6,766
市民一人 当たり【円】	258	256	241	239	317	315	233	231

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

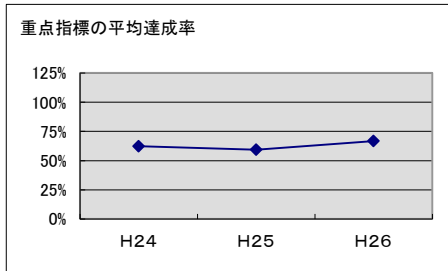
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	62.3%	59.3%	66.7%

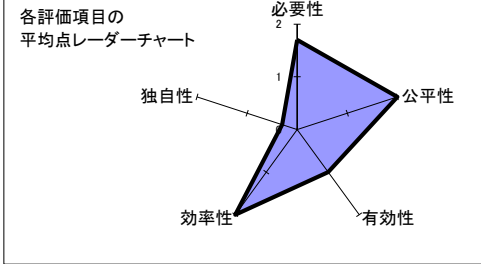
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.7 / 2	2.0 / 2	1.0 / 2	2.0 / 2	0.3 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	5	1		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	5		

■施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	各種審議会委員に占める女性委員の割合	%	25.3	25.8	26.4	26.9		35.0
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

男女共同参画の分野においては、各種審議会委員に占める女性委員の割合は徐々に増えてはきているものの、依然として低い比率となっている。平成26年度には第2次男女共同参画プランを策定したため、男女共同参画推進市民会議や各種団体等と連携し、継続的な取り組みを実施する。なお、人権の尊重に関する取り組みについては、瞬時に効果が表れるものではないため、効率を求めるよりも確実な取り組みが必要である。

■行政評価委員会意見

男女共同参画施策にマンネリ化が見られることから、第2次男女共同参画プランで新たに掲げた防災活動における女性の参画や女性の起業の積極的な推進等を中心に着実に進め、さらなる改善に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

男女平等意識の啓発について、指標に掲げる男女共同参加つどいの参加人数が毎年目標にはほど遠い実績となっている。大学生等の若い世代への啓発を強化するなど、参加人数の増加や幅広い世代への浸透に努められたい。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	人権教育の推進	2,009	1,957	2,024	1,961	2,002	1,949	1,505	1,452	人権教室に参加した児童数	人	実績 86	38	126	200	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	214	福祉課
											達成	43.0%	19.0%	63.0%											
2	男女平等教育の推進	758	758	735	735	761	761	761	761	「感謝状」作品応募数	件	実績 925	903	900	1,000	↑	2	2	1	2	1	A	現状維持	215	総務課
											達成	92.5%	90.3%	90.0%											
3	政策・方針決定過程における女性の参画の拡大	1,427	1,427	1,288	1,288	3,556	3,556	1,421	1,421	各種審議会委員に占める女性委員の割合	%	実績 25.8	26.4	26.9	30.0	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	216	総務課
											達成	86.0%	88.0%	89.7%											
4	働く場における男女平等の推進	714	714	358	358	355	355	355	355	働きやすい環境が整っていると考える市民の割合	%	実績 30.7	32.7	34.5	55.0	↑	2	2	1	2	0	A	現状維持	217	総務課
											達成	55.8%	59.4%	62.7%											
5	女性に対するあらゆる暴力の根絶	357	357	358	358	355	355	355	355	相談窓口及び電話による相談の件数	件	実績 10	9	4	10	→	1	2	1	2	0	B	現状維持	218	総務課
											達成	-	-	-											
6	男女平等意識の啓発	2,541	2,541	2,428	2,428	2,339	2,339	2,422	2,422	男女共同参画つどいの参加人数	人	実績 170	200	140	500	↑	1	2	1	2	1	A	拡大	219	総務課
											達成	34.0%	40.0%	28.0%											
7											実績														
											達成														
8											実績														
											達成														
9											実績														
											達成														
10											実績														
											達成														
11											実績														
											達成														
12											実績														
											達成														
13											実績														
											達成														
14											実績														
											達成														
15											実績														
											達成														
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 35

施策区分	ゆう区分	融【まちづくり、行財政】
	基本施策	情報化の推進
事務事業数		8

施策の目的	ITを積極的に活用した業務の効率化と迅速化、質の向上への取り組みを進めながら、行政情報を適切に管理し運用できる電子自治体の構築を推進する。
-------	---

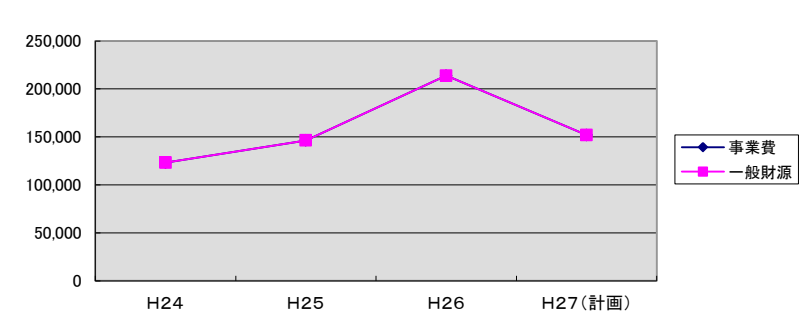
施策担当部・課	総務部 政策課	
関係課	総務課	

■施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	123,159	123,159	146,311	146,311	213,870	213,870	151,791	151,791
市民一人 当たり【円】	4,073	4,073	4,898	4,898	7,243	7,243	5,181	5,181

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

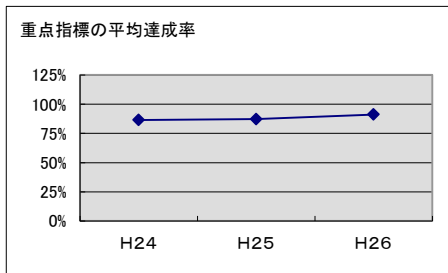
施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)



■重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	86.5%	87.2%	91.2%

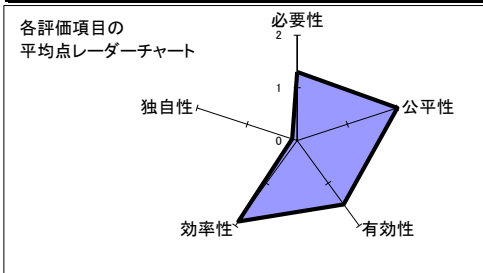
※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)



■一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.3 / 2	2.0 / 2	1.5 / 2	1.9 / 2	0.1 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	3	5		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	1	7		

■施策の指標・目標

	指 標 名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	住民基本台帳カードの交付率	%	9.6	11.4	12.3	13.1		15.0
②								
③								
④								
⑤								

■現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

情報化の進展に合わせて行政手続等の電子化へのニーズが高くなっていることから、手続きの電子化を推進するとともに、電子化を最大限に活かし事務の効率化も図るべきである。
平成27年10月からマイナンバー制度が開始し、他の機関が保有する情報がつながることで、市民サービスの向上と事務の効率化が図れるが、これまで以上にセキュリティ対策が不可欠である。今後はシステムによるセキュリティ対策を強化するとともに、人的セキュリティ対策も強固に進めていかなければならない。

■行政評価委員会意見

マイナンバー制度の開始に伴い、情報セキュリティ対策や個人情報保護をより一層徹底しながら、関連する各業務において市民サービスの向上と事務の効率化に努められたい。

■行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	電算処理システムの運用	111,585	111,585	131,885	131,885	195,712	195,712	121,279	121,279	詳細マニュアルの追加登録率	%	実績 100.0	100.0	100.0	100.0	↑	1	2	2	1	0	B	現状維持	220	政策課
2	電算機器・システムの管理	7,981	7,981	10,330	10,330	14,282	14,282	26,867	26,867	各端末にインストールされている各種システムの質問集の件数	件	実績 70.0%	143	192	200	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	221	政策課
3	行政手続の電子化の推進	1,093	1,093	808	808	528	528	528	528	電子申請の手続数	件	実績 31	25	23	33	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	222	政策課
4	安心安全情報の発信	1,239	1,239	1,240	1,240	1,237	1,237	1,006	1,006	市の防災メールへの登録者数	人	実績 1,016	1,132	1,224	1,500	↑	1	2	2	2	1	A	拡大	223	総務課
5	行政情報の公開・発信と共有	143	143	143	143	142	142	142	142	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	%	実績 43.7	50.2	49.9	50.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	224	政策課
6	個人情報の保護	71	71	143	143	142	142	142	142	個人情報の不適正な取扱い件数	件	実績 0	0	0	0	↓	2	2	2	2	0	A	現状維持	225	政策課
7	計画的な情報化施策の推進	500	500	501	501	497	497	497	497	詳細マニュアルの追加登録率	%	実績 100.0	100.0	100.0	100.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	226	政策課
8	情報セキュリティ対策の強化	547	547	1,261	1,261	1,330	1,330	1,330	1,330	セキュリティインシデントの発生件数	回	実績 0	0	0	0	↓	2	2	2	2	0	A	現状維持	227	政策課
9												実績													
10												達成													
11												実績													
12												達成													
13												実績													
14												達成													
15												実績													
16												達成													
17												実績													
18												達成													
19												実績													
20												達成													

平成27年度 施策評価シート(平成26年度実績)

施策番号 36

施策区分	ゆう区分	融【まちづくり、行財政】
	基本施策	効率的な行財政運営
事務事業数		15

施策の目的	地方分権時代において、多様化かつ高度化する市民ニーズに対応するため、行政情報の発信と行政改革の推進、財政基盤の安定化に努め、効率的な財政運営を推進する。
-------	--

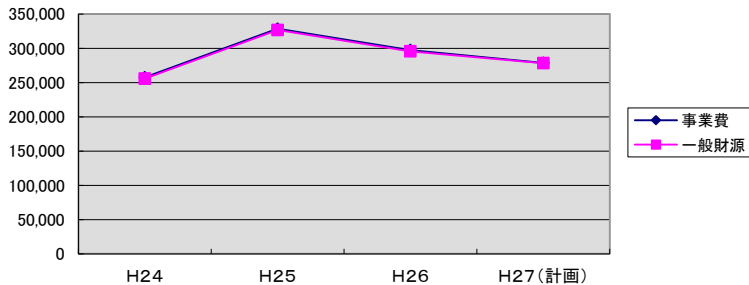
施策担当部・課	総務部 政策課	
関係課	総務課	監理課
	財政課	税務課
	収納推進課	

■ 施策全体の事業費(トータルコスト)

	H24		H25		H26		H27(計画)	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
事業費等 【千円】	257,424	255,544	328,490	326,610	297,393	295,506	278,407	278,289
市民一人 当たり【円】	8,513	8,451	10,998	10,935	10,071	10,007	9,502	9,498

※事業費…直接事業費+人件費(施策に投入された工数に平均労務費を乗じて算出)

施策に投入された各年度のトータルコストの推移(千円)

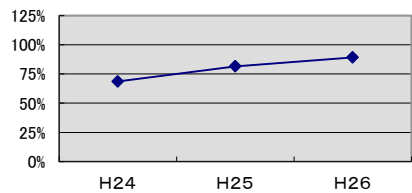


■ 重点指標の最終目標値に対する平均達成率

項目	H24	H25	H26
平均達成率	68.6%	81.6%	89.3%

※ 指標方向が「↑」または「↓」の事務事業の達成率の平均(最終目標値が0の事務事業は除く。)

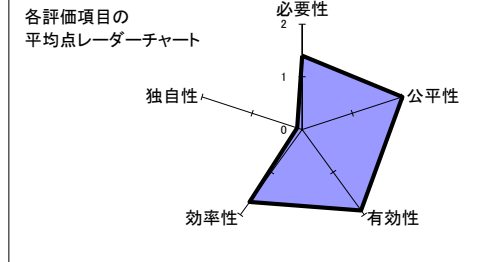
重点指標の平均達成率



■ 一次評価の概要

<各評価項目の平均点>

項目	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性
平均評点	1.4 / 2	2.0 / 2	1.9 / 2	1.7 / 2	0.1 / 2



<ランクの集計(A…最高ランク、D…最低ランク)>

ランク	A	B	C	D
事業数	12	3		

<次年度以降の実施方針の集計>

方針	拡大	現状維持	縮小	休・廃止
事業数	6	9		

■ 施策の指標・目標

	指標名	単位	H23	H24	H25	H26	H27	目標
①	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	%	46.2	43.7	50.2	49.9		50.0
②	ホームページアクセス数(1日平均)	件	863	879	924	1,023		1,200
③	実質公債費比率	%	12.4	11.6	10.5	9.3		10.0
④	市税収納率(現年度分)	%	97.9	97.9	98.2	98.2		98.0
⑤								

■ 現状、課題及び今後の方針<施策担当課>

今後は北陸新幹線県内延伸やふくいしあわせ元気国体などの大型事業が控える中、人口減少に伴う税収減や高齢化に伴う扶助費の増嵩、公共施設等の更新など、これまで以上の財政需要が求められることとなる。そのため、より一層の行政改革を推進するとともに、市税等の適正な賦課と徴収を推進することが必要である。
また、行政評価を適正に実施し、事務事業のスクラップアンドビルドも視野に入れた改革も必要である。

■ 行政評価委員会意見

新たな総合振興計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、行財政改革を推進するとともに、昨年度の行政改革等推進委員会の指摘にあったPDCAサイクルの「A(改善)」に要する期間の短縮化に努め事業を進められたい。

■ 行政改革等推進委員会意見

行政評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■施策構成事務事業

No	事務事業名	事業費及び一般財源 【単位:千円】								重点指標の推移							一次評価						事業No	所管課	
		H24		H25		H26		H27(計画)		指標名	単位	H24	H25	H26	最終	方向	必要性	公平性	有効性	効率性	独自性	ランク			方針
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源																
1	広報紙の発行	9,693	9,642	9,780	9,729	8,386	8,335	9,026	8,975	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	%	実績 43.7	50.2	49.9	50.0	↑	1	2	1	2	0	B	現状維持	228	政策課
											達成 87.4%	100.4%	99.8%												
2	ケーブルテレビ番組の制作	28,003	26,174	29,102	27,273	33,141	31,312	22,615	22,615	ケーブルテレビ加入率	%	実績 66.3	67.7	68.2	70.0	↑	1	2	2	1	0	B	現状維持	229	政策課
											達成 94.7%	96.7%	97.4%												
3	ホームページによる情報の発信	2,027	2,027	1,409	1,409	1,627	1,627	2,605	2,605	ホームページアクセス数(1日平均)	回	実績 879	924	1,023	1,200	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	230	政策課
											達成 73.2%	77.0%	85.3%												
4	多様な手段を活用した情報の発信	4,924	4,924	3,815	3,815	4,248	4,248	3,821	3,821	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	%	実績 43.7	50.2	49.9	50.0	↑	1	2	2	2	0	A	拡大	231	政策課
											達成 87.4%	100.4%	99.8%												
5	行政評価システムの適正な運用	2,284	2,284	2,289	2,289	2,274	2,274	2,274	2,274	施策評価実施割合(前年度決算事業)	%	実績 100.0	100.0	100.0	100.0	↑	1	2	2	2	1	A	拡大	232	政策課
											達成 100.0%	100.0%	100.0%												
6	行政改革の推進	2,586	2,586	1,117	1,117	2,110	2,110	2,917	2,917	総合振興計画後期基本計画の目標達成状況	%	実績 9.3	34.5	45.0	100.0	↑	1	2	1	2	0	B	拡大	233	政策課
											達成 9.3%	34.5%	45.0%												
7	公共施設の統廃合	214	214	215	215	213	213	213	213	解消、再配置施設数(累計)	件	実績 7	12	14	14	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	234	政策課
											達成 50.0%	85.7%	100.0%												
8	新しい行政手法の検討と導入	3,089	3,089	3,104	3,104	3,065	3,065	3,092	3,092	改善事例に結びついた提案の数	件	実績 4	4	3	5	↑	1	2	2	2	0	A	現状維持	235	政策課
											達成 80.0%	80.0%	60.0%												
9	市有財産の適正な管理	65,811	65,811	87,864	87,864	65,503	65,503	65,503	65,503	遊休地処分率	%	実績 0.0	5.6	0.0	100.0	↑	1	2	2	1	1	A	現状維持	236	監理課
											達成 0.0%	5.6%	0.0%												
10	入札制度の改善と適正執行	13,318	13,318	17,731	17,731	13,110	13,110	19,717	19,717	電子入札件数割合	%	実績 23.9	65.7	78.3	80.0	↑	2	2	2	2	0	A	拡大	237	監理課
											達成 29.9%	82.2%	97.9%												
11	組織・定員の適正化	2,372	2,372	2,575	2,575	2,439	2,439	2,461	2,461	あわら市の職員数	人	実績 267	275	272	275	→	2	2	2	1	0	A	現状維持	238	総務課
											達成 -	-	-												
12	人材の育成と勤務評価の推進	5,997	5,997	5,979	5,979	7,033	7,033	6,068	6,068	職員の研修参加率	%	実績 187	203	247	200	↑	2	2	2	1	0	A	現状維持	239	総務課
											達成 93.3%	101.3%	123.7%												
13	財政の効率化、健全化、透明化	4,139	4,139	3,005	3,005	2,985	2,985	2,985	2,985	実質公債費比率	%	実績 11.6	10.5	9.3	10.0	↓	2	2	2	2	0	A	現状維持	240	財政課
											達成 86.2%	95.2%	107.5%												
14	市税の適正な賦課	62,327	62,327	83,856	83,856	80,336	80,336	67,309	67,309	給与支払報告書を10人以上提出した事業所の内、普通徴収事業所の数	件	実績 35	29	18	24	↓	2	2	2	2	0	A	拡大	241	税務課
											達成 68.6%	82.8%	133.3%												
15	収納事務の適正な執行	50,640	50,640	76,649	76,649	70,923	70,916	67,801	67,734	現年度収納率	%	実績 97.9	98.2	98.2	98.0	↑	2	2	2	2	0	A	現状維持	242	収納推進課
											達成 99.9%	100.2%	100.2%												
16											実績														
											達成														
17											実績														
											達成														
18											実績														
											達成														
19											実績														
											達成														
20											実績														
											達成														